## 用語について

本書では、次のように定義します。

システム ..... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムは、Windows XP です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP ..... Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME ..... Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。

## 記載について

・インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
・本書に記載している画面は、実際に表示される画面と異なる場合があります。

## Trademarks

・Microsoft、Windows、Office ロゴ、Outlook、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Bookshelf Basic は、次の書籍を基に制作されました。『新英和中辞典』 第6版（c）研究社 1967,1994,1998、『新和英中辞典』第4版（c）研究社 1993,1995,1998、『新明解国語辞典』第5版（c）三省堂 1972,1974,1981,1989,1997
・i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
・LaLaVoice、The 翻訳、The 翻訳インターネットは（株）東芝の商標または登録商標です。
・Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
・Drag'n Drop CD はイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの商標です。
・EasySystems はイージーシステムズジャパン株式会社の登録商標です。
・DigiOn は株式会社デジオンの登録商標です。
・VERITAS は米国 VERITAS 社の登録商標です。
・駅すぱあとは株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
・プロアトラスは株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。

・KaraOK！は株式会社フェイスの商標です。
・Symantec、Symantec ロゴ、Norton AntiVirus、Live Update は Symantec Corporation の登録商標です。
（c）2001 Symantec Corporation, All Rights Reserved
・infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。
・アメリカ・オンラインおよび AOL は AOL の登録商標です。
・BIGLOBE は日本電気株式会社の商標です。
・DION は KDDI 株式会社の登録商標です。
・OCN は NTT コミュニケーションズ株式会社の商標です。
・@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
・ODN は日本テレコム株式会社の商標です。
・So-net、ソネットおよび So-net のロゴは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
・PostPet はソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
・東京電話インターネットは東京通信ネットワーク株式会社の登録商標です。
・ぷららは株式会社ぷららネットワークスの登録商標です。
・InfoSphere は NTTPC コミュニケーションズの登録商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

### ドルビー商標について

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

## リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。
本製品の電源を入れた状態で、次の操作を行うとご覧になれます。

① [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックする
② [ヘルプトピックを選びます] の [リリース情報] をクリックする
③ 左画面の [リリース情報] をクリックする

## お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品でのみご利用いただけます。
・ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。
保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

## 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

# DynaBookでやりたいことを探そう！

**探しかた**

・カラオケをやりたい ⇒ P.××
「Kara OK！」
アプリケーション名
参照ページ
または
参照マニュアル名

## インターネットを楽しむ

・プロバイダと契約したい ⇒『まずはこれから』
「簡単インターネット」

・ホームページを見たい ⇒『基本をマスター 5章 インターネットを楽しもう』
「Internet Explorer」

・英語のホームページを日本語に翻訳したい ⇒P.130
「インターネット翻訳 英日」

・日本語のホームページを英語に翻訳したい ⇒P.130
「インターネット翻訳 日英」

・海外でインターネットに接続したい ⇒『もっとステップアップ 2章 4 内蔵モデムについて』
「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」

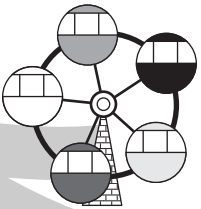
## メールを使う

・メールとスケジュールをまとめて管理したい ⇒P.121
「Microsoft Outlook」

・メールをしたい ⇒『基本をマスター 6章 2 Microsoft Outlookの使いかた』
「Microsoft Outlook」

・ペットにメールを運んでもらいたい ⇒『基本をマスター 6章 3 ペットにメールを運んでもらう』
「PostPet」

・自動メールチェックしたい ⇒『基本をマスター 6章 5 新着メールをモードパネルで確認する』
「新着メールチェックのスケジュール設定」



## 音楽を楽しむ

・音楽をAAC方式で取り込んで再生したい ⇒P.63
SDメモリカードに転送したい
「Audio Manager」

・音楽CDやファイルを再生したい ⇒P.44
「LIVE MEDIA PLAYER」

・音楽CDやファイル、ムービーを再生したい ⇒P.48
「Windows Media Player」

・オリジナル音楽CDをつくりたい ⇒P.70
「Drag'n Drop CD」

・カラオケをやりたい ⇒P.75
「Kara OK！」

## 音声

・パソコンを音声で操作したい
パソコンに文章を読み上げさせたい ⇒P.154
「LaLaVoice」

## 画像/映像を楽しむ

・デジタルカメラの写真を取り込んで編集したい ⇒P.86
「デジカメWalker（Ulead iPhoto Express）」

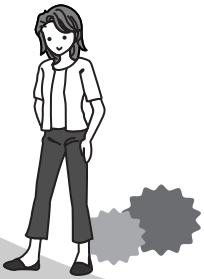
・デジタルビデオカメラの映像を取り込んで編集したい ⇒P.90
「MotionDV STUDIO」

・DVDを楽しみたい ⇒P.78
「InterVideo WinDVD」

## 文書/表を作る

・案内状や報告書を作りたい ⇒P.134
「Microsoft Word」

・表やグラフを作りたい ⇒P.140
「Microsoft Excel」



## 便利なソフト

・PDFファイルを見たい ⇒P.148
「Acrobat Reader」

・家計簿をつけたい ⇒P.108
「てきぱき家計簿マム3」

・地図で場所を調べたい ⇒P.103
「プロアトラス2002」

・電車の経路や時刻表、運賃を調べたい ⇒P.96
「駅すぱあと」

・年賀状や暑中見舞いを作りたい ⇒P.111
「筆ぐるめ」

・国語/英和/和英辞典を使いたい ⇒P.127
「Microsoft Bookshelf Basic」

・携帯電話を快適に使いたい ⇒ オンラインマニュアル→
ソフトウェア→
役立つソフト→携快電話5in
「携快電話5in」

## パソコンを守る

・ウイルスのチェックや駆除をしたい ⇒P.190
「Norton AntiVirus 2002」

・CD-R、CD-RWにバックアップを取りたい ⇒P.195
「Drag'n Drop CD」

## パソコンの設定

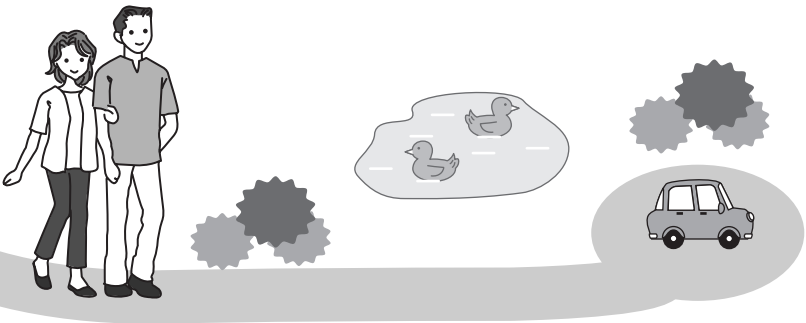
・パソコンの状態をチェックしたい
パソコンの基本情報を知りたい ⇒P.199
「東芝PC 診断ツール」

・ハードウェアの設定を変えたい ⇒『もっとステップアップ 4章 2 東芝 HW セットアップを使う』
「東芝 HW セットアップ」

・ワンタッチボタンの設定を変えたい ⇒『基本をマスター 7章 3 モードパネルと各ボタン』
「東芝コントロール」

・キー操作でアプリケーションを起動したい ⇒ オンラインマニュアル→ソフトウェア→役立つソフト→Fn-esse
「Fn-esse」

・バッテリ駆動のときの省電力設定をしたい ⇒『もっとステップアップ 1章 バッテリ駆動』
「東芝省電力ユーティリティ」



複数のユーザで使用する場合、システム全体を変更できるユーザ（コンピュータの管理者）と、できる操作に制限のあるユーザ（制限付きアカウント）をあらかじめ設定しますが、プレインストールされているアプリケーションの中には、ログオンするユーザによって使用に制限がある場合があります。

参照 複数のユーザで使用する
➲『もっとステップアップ 2 章 5-3 複数のユーザで使用する』

| アプリケーション | 使用できるユーザ | | 複数のユーザで同時に使用できる | 制限付きアカウントでのアイコン表示 |
|---|---|---|---|---|
| | すべてのユーザ | コンピュータの管理者のみ | | |
| 簡単インターネット | ○*1 | | ○ | ○ |
| The翻訳インターネット | ○ | | ○ | ○ |
| 内蔵モデム用<br>地域選択ユーティリティ | | ○ | | ○*2 |
| PostPet | | ○ | ○ | ○*2 |
| 東芝コントロール<br>（メール着信機能） | | ○ | | |
| 東芝コントロール<br>（ボタン機能） | | ○ | | |
| 東芝コントロール<br>（モードパネル） | | ○ | | |
| TOSHIBA Audio Manager | | ○ | | ○*2 |
| LIVE MEDIA PLAYER | ○ | | ○ | ○ |
| Drag'n Drop CD | ○ | | ○*3 | ○ |
| KaraOK ! | ○ | | ○ | ○ |
| LaLaVoice | ○*4 | | ○ | ○ |
| デジカメWalker<br>（Ulead iPhoto Express） | | ○ | | |
| Motion DV STUDIO | | ○ | | ○*2 |
| InterVideo WinDVD | ○ | | | ○ |
| てきぱき家計簿マム3 | ○ | | ○ | ○ |
| プロアトラス2002 | | ○ | ○ | ○*2 |
| 駅すぱあと | ○ | | ○ | |
| 筆ぐるめ | | ○ | | ○*2 |
| 携快電話5in | ○ | | ○ | ○ |
| Norton AntiVirus 2002 | ○ | | ○ | ○ |
| 東芝PC診断ツール | | ○ | | ○*2 |
| 東芝HWセットアップ | ○ | | | —*5 |
| 東芝省電力ユーティリティ | | ○ | ○ | —*5 |
| Fn-esse | ○ | | ○ | ○ |

| アプリケーション | 使用できるユーザ | | 複数のユーザで同時に使用できる | 制限付きアカウントでのアイコン表示 |
|---|---|---|---|---|
| | すべてのユーザ | コンピュータの管理者のみ | | |
| 東芝ネットメニュー | ○ | | ○ | ○ |
| いきなりインターネット（infoPepper） | | ○ | | ○*2 |
| AOL6.0 | ○ | | | ○ |
| DION 簡単設定ツール | | ○ | ○ | ○*2 |
| OCN サインアップ | | ○ | | |
| So-net 簡単スターター | | ○ | ○ | ○*2 |
| @niftyでインターネット | | ○ | | ○*2 |
| ODNダイヤルアップスターターキット | ○ | | ○*6 | ○ |
| DreamNet | | ○ | ○ | |
| BIGLOBEサインアップナビ | ○ | | | ○ |
| ぷらら | ○ | | ○ | ○ |
| TTnet | ○ | | ○ | ○ |
| InfoSphere | | ○ | | |
| eAccess | ○ | | ○ | ○ |

＊1 制限アカウントはダイヤル方式の設定はできません。
＊2 コンピュータ管理者（インストールしたユーザ）以外も、デスクトップまたはスタートメニューにアイコンがありますが、使用できるユーザはコンピュータ管理者のみです。
＊3 CDへの書き込みは、複数のユーザが同時に行うことはできません。
＊4 制限付きアカウントでのご使用は動作保証外となります。
＊5 コントロールパネルにはアイコンが表示されます。
＊6［ユーザアカウント］のオプションにて［ユーザの簡易切り替えを使用する］を設定している場合のみ、可能です。

# 1章
# 音楽を楽しもう


1 音楽CDを聴く ..... 44
2 音楽ファイルを聴く ..... 52
3 音楽ファイルを変換する ..... 63
4 オリジナル音楽CDを作る ..... 70
5 オリジナルMDを作る ..... 74
6 カラオケをする ..... 75

# 1 音楽 CD を聴く

音楽 CD を聴くには次の方法があります。

- Windows を起動して音楽 CD を聴く
- Windows を起動しないで音楽 CD を聴く

## 1 Windows を起動して音楽 CD を聴く

Windows を起動して音楽 CD を聴くためには、音楽 CD に対応したアプリケーションを起動します。
本製品には次のアプリケーションがインストールされています。

・LIVE（ライブ） MEDIA（メディア） PLAYER（プレーヤ）
・Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Player（プレーヤ）
・Audio（オーディオ） Manager（マネージャ）

### LIVE MEDIA PLAYER

*1* 音楽 CD をセットする

［Audio CD（E:)］画面が表示されます。
ご購入時は、音楽 CD を再生するアプリケーションとして「LIVE MEDIA　PLAYER」が選択されています。

参照 CD のセット
➲『基本をマスター 7 章 8-2 CD/DVD のセットと取り出し』

**2** ［オーディオ CD の再生 LIVE MEDIA PLAYER 使用］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

「LIVE MEDIA PLAYER」が起動します。

**3** 画面のボタンで操作する

「LIVE MEDIA PLYER」の各操作ボタンの役割は次のとおりです。

メモ

- ［My Music］にサンプル用の音楽ファイルが保存されていた場合、ファイルが再生されます。停止するときは ■ ボタンをクリックします。

## ヘルプの起動方法

*1* 「LIVE MEDIA PLAYER」を起動後、 をクリックする

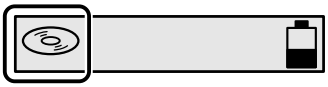
参照 「LIVE MEDIA PLAYER」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（1）東芝（東芝 PC ダイヤル）」

## オーディオ／アプリケーションボタンで起動する

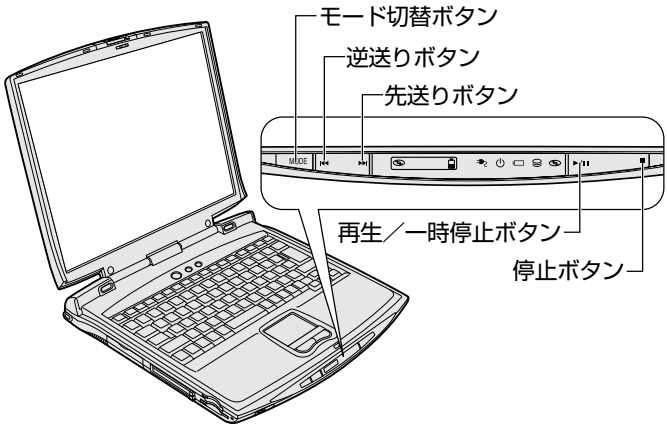
オーディオ／アプリケーションボタンを使ってアプリケーションを起動できます。

*1* モードパネルに CD／DVD 再生アイコン（ ）が表示されていることを確認する

CD／DVD 再生アイコンが表示されていない場合は、表示されるまで、モード切替ボタンを何度か押してください。



*2* 再生／一時停止ボタンを押す




「LIVE MEDIA PLAYER」が起動します。

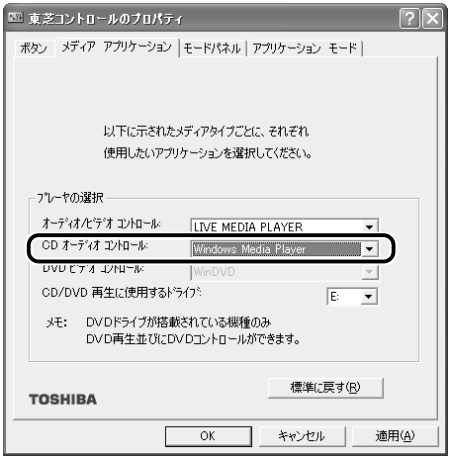
メモ

- オーディオ／アプリケーションボタンでも、再生や停止などの操作ができます。再生しているトラックの１つ前のトラックを再生するには、トラックの再生が始まって４秒以内に逆送りボタンを押してください。４秒を過ぎてから押すと、現在再生しているトラックの先頭から再生されます。

## ■ アプリケーションを変更する

モードパネルにCD／DVD再生アイコン（ ）が表示されているとき（CD／DVD再生モード時）に、起動するアプリケーションを「Windows Media Player」に変更できます。

1. ［コントロールパネル］を開き、［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする
2. ［ 東芝コントロール］をクリックする
3. ［メディアアプリケーション］タブの［CDオーディオコントロール］でアプリケーションを選択する




4. ［OK］ボタンをクリックする

## Windows Media Player

「Windows Media Player」の各操作ボタンの役割は次のとおりです。

## ヘルプの起動方法

*1* 「Windows Media Player」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

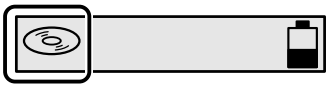
参照 「Windows Media Player」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（1）東芝（東芝 PC ダイヤル）」

## 2 Windowsを起動しないで音楽CDを聴く

Windows を起動しないで音楽 CD を再生できます。オーディオ／アプリケーションボタンを使って操作します。

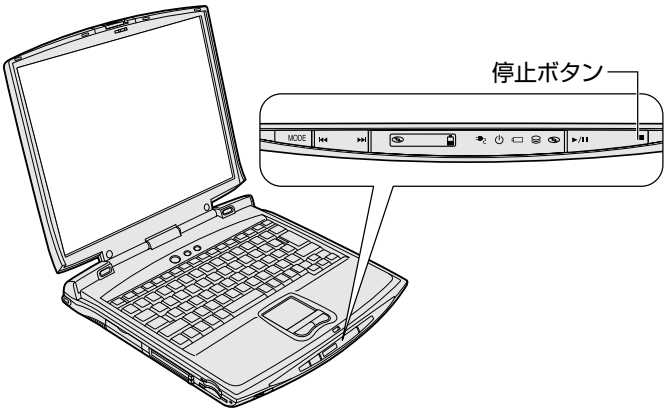
### 1 モードパネルに CD／DVD 再生アイコン（ ）が表示されていることを確認する

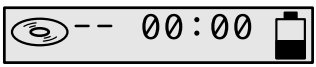
CD／DVD 再生アイコンが表示されていない場合は、表示されるまで、モード切替ボタンを何度か押してください。



### 2 停止ボタンを押す

マルチドライブの電源が入ります。しばらくしてディスクトレイが出てきます。
Power ⏻ LED は点灯しません。



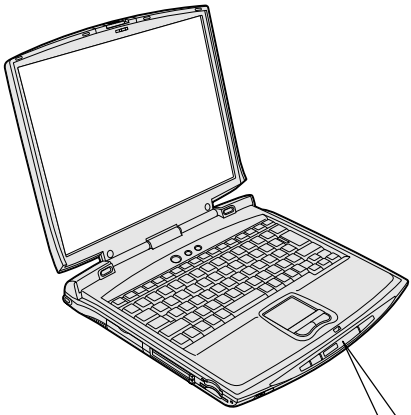

### 3 音楽 CD をセットする

参照 CD のセット ➲『基本をマスター 7 章 8-2 CD/DVD のセット取り出し』

メモ

- 音楽CDの再生中に、パソコン本体に振動・衝撃を与えると、音飛びすることがあります。
- マルチドライブの電源を入れてから2分以上操作がない場合は、自動的にドライブの電源がOFFになり、モードパネルには、CD／DVD再生アイコンとバッテリアイコンのみ表示されている状態になります。その場合は、もう1度停止ボタンを押して、電源を入れ直してください。

## 4 オーディオ／アプリケーションボタンで操作する

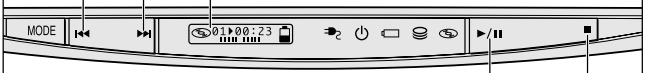


オーディオ／アプリケーションボタン

**逆送りボタン**
再生が始まって2秒未満（00:02が表示される前まで）に押すと、1つ前のトラックに戻って再生されます。
2秒以上たってから押すと、現在再生しているトラックの先頭から再生されます。

**先送りボタン**
再生するトラックを1つ進めます。

**モードパネル**
曲数や再生（▶）、停止（■）などが表示されます。下には音量バーも表示されます。




**再生／一時停止ボタン**
再生または一時停止します。

**停止ボタン**
再生中は、再生を停止します。
停止中は、ディスクトレイが出てきます。

### 5 終了する場合は、音楽 CD を取り出す

停止ボタンを押して再生を停止した後、もう 1 度停止ボタンを押すと、ディスクトレイが出てきます。

お願い

- 持ち運ぶときは、モード切替ボタンを 4 秒以上押してロック状態（🔒）にしてください。
  モード切替ボタンを 4 秒以上押すと、オーディオ／アプリケーションボタンで操作できなくなります（ロック状態）。
  もう 1 度 4 秒以上押すと、ロック状態が解除されます。

# 2 音楽ファイルを聴く

「LIVE MEDIA PLAYER」や「Windows Media Player」では、次のような音楽ファイルを再生できます。

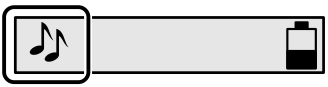
- WAVE形式（.wav）
- MIDI形式（.mid）
- MP3形式（.mp3） など

## 1 LIVE MEDIA PLAYERを起動する

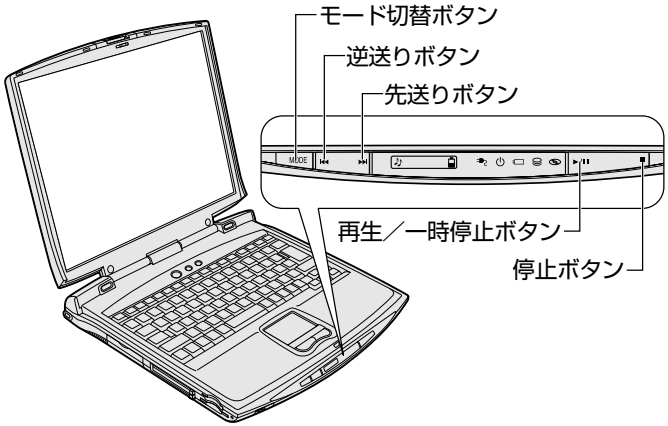
オーディオ／アプリケーションボタンを使ってアプリケーションを起動することができます。

### *1* モード切替ボタンを押す

モードパネルにオーディオデジタル再生アイコン（♪）が表示されるまで、モード切替ボタンを何度か押してください。



### *2* 再生／一時停止ボタンを押す




標準では「LIVE MEDIA PLAYER」が起動します。

参照 LIVE MEDIA PLAYERの操作について
➲「本章 1-1 Windowsを起動して音楽CDを聴く」

## ■ アプリケーションを変更する

モードパネルにオーディオデジタル再生アイコン（♪）が表示されているとき（オーディオデジタル再生モード時）に、起動するアプリケーションを「Windows Media Player」または「Audio Manager」に変更できます。

1 ［コントロールパネル］を開き、［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

2 ［ 東芝コントロール］をクリックする

3 ［メディアアプリケーション］タブの［オーディオ／ビデオコントロール］でアプリケーションを選択する

4 ［OK］ボタンをクリックする

参照 Windows Media Player について
➲「本節 3 Windows Media Player で再生する」

参照 Audio Manager について ➲「本章 3 音楽ファイルを変換する」

# 2 LIVE MEDIA PLAYERで再生する

まず、再生する音楽ファイルをご用意ください。音楽ファイルは、インターネットからダウンロードしたりアプリケーションを使って自分で作ることもできます。
LIVE MEDIA PLAYERでは、複数のファイルを集めてプレイリストを設定できます。そのプレイリストごとに音楽ファイルや音楽CDのトラックを自由に登録できるので、1枚のMDやCDのようなイメージで使うことができます。

- プレイリストを作成しない場合
  「本項 音楽ファイルを直接再生する」をご覧ください。
- プレイリストを作成する場合
  「本項 プレイリストから再生する」をご覧ください。

## 音楽ファイルを直接再生する

あらかじめ、再生したい音楽ファイルを「マイ　ミュージック」に保存しておきます。

*1* ボタンをクリックする
音楽ファイルが再生します。
再生を一時停止するには、ボタンをクリックします。
再生を再開するには、もう一度ボタンをクリックします。
再生を停止するには、ボタンをクリックします。

### ■ トラックを選択して再生する

*1* ボタンをクリックする
ボタンをクリックすると、次のトラックが再生します。
ボタンをクリックすると、前のトラックが再生します。

*2* ボタンをクリックする

## プレイリストから再生する

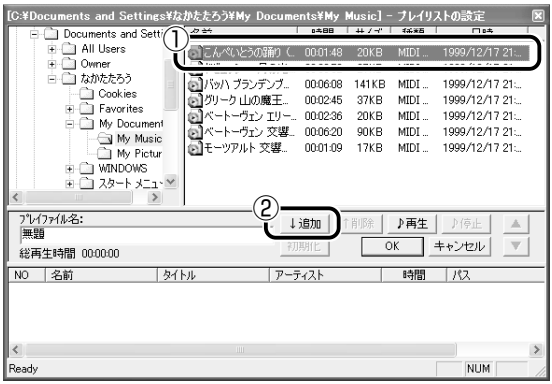
プレイリストを再生するには、まずプレイリストを作成します。

### ■ プレイリストの作成

*1* LIST ボタンをクリックする
［プレイファイルの設定］画面が表示されます。

*2* 新規ボタンをクリックする

*3* プレイリストに追加するファイルを選択し①、追加ボタンをクリックする②




この手順を繰り返して、必要な音楽ファイルをすべて追加します。
追加し終わったら、手順４に進んでください。

*4* ［プレイリストファイル名］を入力し①、［OK］ボタンをクリックする②

プレイリストが作成されました。

**【プレイリストの設定】**

プレイリストの設定は［プレイファイルの設定］画面で行います。

- プレイリストの編集
  ファイル名を選択して［編集］ボタンをクリックする
- プレイリストの削除
  ファイル名を選択して［削除］ボタンをクリックする
- プレイリストの無効
  ファイル名の左にあるチェックをはずす
- プレイファイルの順番の変更
  ファイル名を選択して ▲ ボタンまたは ▼ ボタンをクリックする

## ■ プレイリストの再生

再生方法は、直接ファイルを再生する場合と同じです。

**【プレイリストを選択する】**

MD チェンジャや CD チェンジャで次のディスクを選択するようにプレイリストを選択できます。

*1* ボタンまたは ボタンをクリックする

ボタンをクリックすると次のプレイリストが再生します。
ボタンをクリックすると前のプレイリストが再生します。

## ■ 再生モードを切り替えて再生する

プレイリストは設定されている順番に再生されます。
次のボタンをクリックして再生モードを切り替えることができます。
モードは画面で確認できます。

| 再生モード | ボタン | 内容 |
|---|---|---|
| NORMALモード | − | 通常の再生を行います。 |
| 1 REPEATモード | 1 | 現在選択されている曲を繰り返し再生します。 |
| ALL REPEARTモード | ALL | すべての曲を繰り返し再生します。 |
| RANDOMモード | RANDOM * | ランダム再生を行います。 |
| INTROモード | INTRO | 各曲の最初の部分を数秒ずつ再生します。 |

＊停止中のみ選択できます。

# 3 Windows Media Playerで再生する

「Windows Media Player」でも音楽ファイルを再生できます。「Windows Media Player」を起動後、次の手順で操作してください。

- 再生リストを作成しない場合
  「本項 音楽ファイルを直接再生する」をご覧ください。
- 再生リストを作成する場合
  「本項 再生リストから再生する」をご覧ください。

メモ
- 各音楽ファイルは「1トラック」として扱われます。
- 音楽ファイルには、曲名やアーティスト名などの情報が記録されていることがあります。これらの情報がある場合は、画面上に表示されます。

## 音楽ファイルを直接再生する

*1* メニューバーから［ファイル］→［開く］をクリックする

*2* ファイルを選択し①、［開く］ボタンをクリックする②

再生が開始されます。

## 再生リストから再生する

再生リストは、ファイルを好きな順序に並べたリストです。再生リストを使うと、複数の音楽ファイル（CD、ラジオ局、およびビデオからの複数のトラックなど）をグループ化して、指定した順序で再生することができます。

### ■ 再生リストを作成する

*1* メディアライブラリにファイルを追加する

● 音楽 CD のトラックをコピーする

① 音楽 CD をセットする
② ［CD からコピー］ボタンをクリックする
③ コピーするトラックをチェックする
④ ［音楽のコピー］ボタンをクリックする

● ファイルを追加する場合

① メニューバーから［ファイル］→［メディアライブラリに追加］→［ファイルを追加］をクリックする
② ［ファイルを開く］画面でファイルを選択する

● インターネット上の音楽ファイルなどのマルチメディアを追加する場合

① メニューバーから［ファイル］→［メディアライブラリに追加］→［URL を追加］をクリックする
② ［開く］画面で URL またはパスを指定する

*2* 画面左の［メディアライブラリ］ボタンをクリックする

画面が切り替わります。

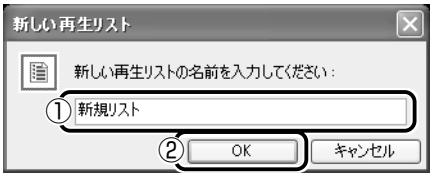
*3* ［オーディオ］欄にある［すべてのオーディオ］をクリックする

右側の［タイトル］欄に、メディアライブラリに追加されているファイルが表示されます。

*4* ［新しい再生リスト］ボタンをクリックする

*5* ［新しい再生リスト］画面で、再生リストの名前を入力し①、［OK］ボタンをクリックする②

ここでは例として「新規リスト」とします。




［新規リスト］が［再生リスト］フォルダに追加されます。

*6* メディアライブラリの中から再生リストに追加するファイルをクリックする

*7* [再生リストに追加] ボタンをクリックし、目的の再生リストを選択する

ファイルが再生リストに追加されます。
ここでは例として「新規リスト」を選択します。

## ■ 再生リストで再生する

*1* ［メディアライブラリ］画面で、目的の再生リストをクリックする

リストの内容が右画面に表示されます。

*2* ［再生］ボタン（ ）をクリックする

再生が開始されます。

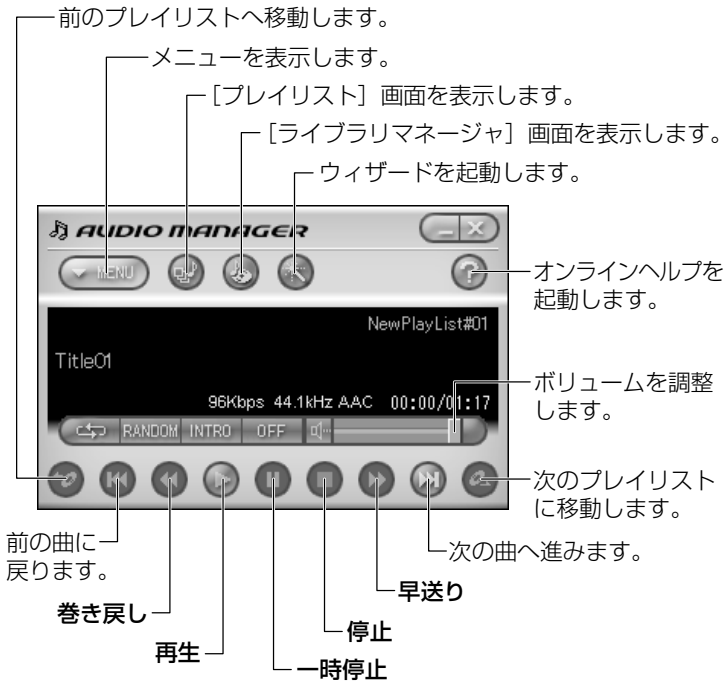
# 3 音楽ファイルを変換する

アプリケーション「Audio（オーディオ） Manager（マネージャ）」で音楽CD、Waveファイルの音楽をAAC形式で変換し、パソコンへ取り込めます。また、MP3ファイルの音楽もパソコンへ取り込めます。SDメモリカードへ転送することもできます。

## 起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA Audio Manager］→［Audio Manager］をクリックする

［プレーヤ］画面が表示されます。



## ウィザードを使って操作する

画面の指示に従って、音楽CDからオーディオデータを取り込んだり、取り込んだオーディオデータをSDメモリカードに転送したりできます。

*1* ［プレーヤ］画面で、 ボタンをクリックする

ウィザードが起動します。

*2* 目的のボタンをクリックする

：音楽CDのデータをAAC方式に変換してライブラリに保存できます。同時にSDメモリカードへ転送もできます。

：WAVEファイルの音楽をAAC方式に変換し、パソコンに取り込めます。また、MP3方式の音楽ファイルもパソコンに取り込めます。同時にSDメモリカードへ転送もできます。

：SDメモリカードなどへ転送できます。

：Audio Managerで再生するリストを作成できます。

*3* 画面の指示に従って操作する

ウィザードではなく、［ライブラリマネージャ］画面からオーディオデータの取り込みや転送を行うこともできます。

## 音楽 CD のデータを取り込む

音楽 CD のデータを AAC 形式に変換してパソコンに取り込みます。

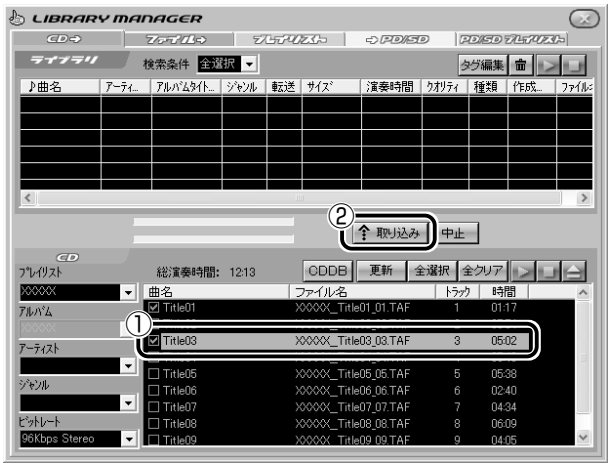
### *1* マルチドライブに音楽 CD をセットする

参照 CD のセット
➲『基本をマスター 7章 8-2 CD ／ DVD のセットと取り出し』

### *2* [プレーヤ] 画面で、 ボタンをクリックする

### *3* [CD →] タブで取り込みたい曲をチェックし①、[取り込み] ボタンをクリックする②

音楽 CD のタイトルや音楽データの情報が表示されていない場合は、[更新] ボタンをクリックしてください。
セットされている音楽 CD の情報が表示されます。



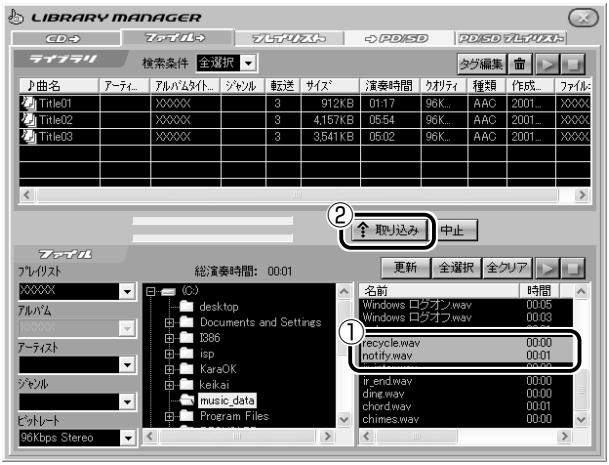

プレイリスト名を入力しておくと、後で曲を再生したり、転送したりするときに便利です。
取り込みが終わると、上部の［ライブラリ］に曲名などが表示されます。

## 音楽ファイルを取り込む

WAVE ファイルの音楽を AAC 形式に変換し、パソコンに取り込めます。また、MP3 方式の音楽ファイルもパソコンに取り込めます。パソコンに取り込んだ後は、パソコン上で再生できます。

*1* ［プレーヤ］画面で ボタンをクリックする

*2* ［ファイル→］タブで取り込みたいファイルを選択し①、［取り込み］ボタンをクリックする②




取り込みが終わると、上部の［ライブラリ］に曲名などが表示されます。

## プレイリストを作成する

プレイリストとは、ライブラリにあるオーディオデータから好きな曲を選んで、まとめて名前をつけておくためのものです。

*1* ［プレーヤ］画面で ボタンをクリックする

*2* ［プレイリスト］タブで［新規リスト］ボタンをクリックする
［プレイリスト名編集］画面が表示されます。

*3* プレイリスト名を入力し、［保存］ボタンをクリックする

*4* ［ライブラリ］から、プレイリストに登録するオーディオデータを選択し①、［追加］ボタンまたは［全追加］ボタンをクリックする②

取り込みが終わると、下部の［プレイリスト］に曲名などが表示されます。

*5* ［プレイリスト保存］ボタンをクリックする
作成したプレイリストが保存されます。

## オーディオデータを SD メモリカードに転送する

取り込んだオーディオデータを SD メモリカードに転送します。

参照 SD メモリカードについて
➲『基本をマスター 7 章 10 SD メモリカード』

*1* ［プレーヤ］画面で ボタンをクリックする

*2* SD メモリカードをセットする

参照 SD メモリカードのセット
➲『基本をマスター 7 章 10-2 SD メモリカードのセットと取り出し』

*3* ［→ PD ／ SD］タブで転送するファイルを選択し①、［追加］ボタンまたは［全追加］ボタンをクリックする②

*4* ［転送開始］ボタンをクリックする

転送が始まります。

［PD/SD プレイリスト］タブでは、SD メモリカードに取り込んだデータのプレイリストを作成できます。

## ヘルプの起動方法

*1* 「Audio Manager」を起動後、操作パネルの右上にある  ボタンをクリックする

参照 「Audio Manager」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（1）東芝（東芝 PC ダイヤル）」

# 4 オリジナル音楽 CD を作る

本製品では、CD-RW、CD-R にデータを書き込むことができるアプリケーション「Drag'n Drop CD（ドラッグン ドロップシーディー）」を使用してオリジナルの音楽 CD を作成できます。

## インストール方法

「Drag'n Drop CD」は、本製品にはインストールされていません。
次の手順に従って、インストールしてください。

*1* 添付の CD のインストールディスクをセットする

参照 CD のセット ➲『基本をマスター 7 章 8-2 CD/DVD のセットと取り出し』

*2* 表示された画面で、[Drag'n Drop CD のセットアップ] をクリックする

*3* 画面の指示に従って「Drag'n Drop CD」をインストールする

*4* 再起動する

## CD-RW、CD-R に書き込む前に

CD-RW、CD-R に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。
守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗した CD-R の損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD-RW、CD-R に保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- CD-R メディアに書き込む際には、8 倍速対応 CD-R メディアをご使用ください。
- CD-RW メディアに書き込む際には、2／4 倍速対応（マルチスピード）CD-RW メディアまたは High-Speed CD-RW（4 ～ 10 倍速）対応メディアをご使用ください。
  High-Speed CD-RW 対応メディアを使用した場合の書き込み速度は最大 8 倍速になります。
- 次のメーカの CD-RW、CD-R をご使用になることをおすすめします。
  CD-RW ：三菱化学（株）、リコー（株）
  CD-R　：太陽誘電（株）、三井化学（株）、三菱化学（株）、
  　　リコー（株）、日立マクセル（株）
  上記以外のメーカの CD-RW、CD-R をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。
- SD メモリカード、フロッピーディスクドライブ、PC カードタイプのハードディスクドライブ、USB 接続のハードディスクドライブなど、本製品のハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込む際は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行なってください。
- 必ず AC アダプタを接続して電源コンセントに接続してください。バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などにより書き込みに失敗するおそれがあります。
- スクリーンセーバなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。
- LAN を経由しての書き込みは行わないでください。LAN を経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行なってください。
- 本製品に添付の「Drag'n Drop CD」以外の CD-RW、CD-R 書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。

参照 省電力機能について
➲『もっとステップアップ 1 章 2 省電力の設定をする』

● 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。

メモ ● CD-R に書き込みできるのは 1 回限りです。書き込みに失敗した CD-R は再利用できませんが、CD-RW は内容を消去すると再利用できます。

## 書き込み／削除を行うときは

● タッチパッドを操作する、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。

● モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。

● パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。

● 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PC カード、USB 対応機器、CRT ディスプレイ、i.LINK 対応機器、光デジタル対応機器、スマートメディア、SD メモリカード

● パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。

● オーディオ／アプリケーションボタンを使用して音楽／音声の再生を行わないでください。

● 重要なデータについては、必ず書き込み終了後、データが正しく書き込まれたことを確認してください。

## 起動方法

インストールすると「Drag'n Drop CD」は自動的に起動され、デスクトップ上にアイコンを表示します。
「Drag'n Drop CD」を終了させた場合は、次の手順で起動してください。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD] → [Drag'n Drop CD] をクリックする
デスクトップ上に、アイコンが表示されます。

## Drag'n Drop CD の基本操作

デスクトップに表示されるアイコンは、次のような役割をもっています。

[Music BOX]
音楽CDを作成するときに使用します。
音楽ファイルをこのボックスにドラッグすると［Audio CD Layout Window］が開き、そこで好きな曲を選択すると自分だけの音楽CD を作成できます。

[DISC Backup BOX]
CDのバックアップを作成するときに使用します。
データCDや音楽CDなど、CDアイコンをこのボックスにドラッグすると、同じものをCD-RW、CD-Rでもう1枚作成できます。

[Data BOX]
データをCD-RW、CD-Rにバックアップするときに使用します。
CD-RW、CD-Rに書き込みたいデータファイルのアイコンをこのボックスにドラッグすると、CD-RW、CD-Rに書き込まれます。

「Drag'n Drop CD」は、パケットライト形式での記録機能は備えていません。

## ヘルプの起動方法

「Drag'n Drop CD」の詳しい情報は、ヘルプを確認してください。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD] → [Drag'n Drop CD のヘルプ] をクリックする
「Drag'n Drop CD」のヘルプが表示されます。

参照 「Drag'n Drop CD」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（15）ESJ カスタマーセンター」

# 5 オリジナル MD を作る

音楽 CD から MD レコーダへの録音方法について説明します。
録音は光デジタルオーディオ出力端子に MD レコーダを接続して行います。

参照 光デジタルオーディオ出力端子について
➲『もっとステップアップ 3 章
7 光デジタルオーディオ出力端子対応機器を接続する』

*1* 音楽 CD をセットする

*2* 光デジタルオーディオ出力端子と MD レコーダを接続する
プラグの形状を確認して接続してください。

*3* 「Windows Media Player」で再生リストを作成する

参照 再生リストの作成 ➲「本章 2-3- 再生リストを作成する」

*4* MD レコーダの録音ボタンを押す

*5* 「Windows Media Player」で再生リストを再生する
MD レコーダに録音が開始されます。

お願い
- 録音中は「ボリュームコントロール」の設定を変更しないでください。パソコンの再生音量を変更すると、MD レコーダでの録音レベルも変更されてしまいます。録音中のパソコン本体からの再生音を消したい場合は、あらかじめボリュームダイヤルを動かなくなるまで手前に回し、音量をゼロにしておいてください。

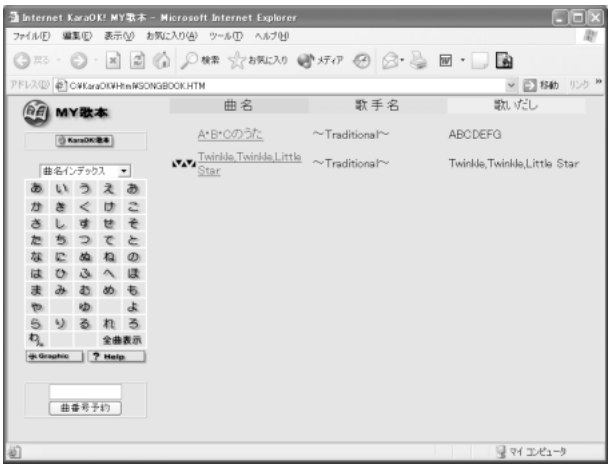
# 6 カラオケをする

アプリケーション「KaraOK!」（カラオーケー）を使って「KaraOK!」のホームページから曲をダウンロードし、カラオケが楽しめます。
お好きな曲をダウンロードしたら、ハイクオリティなサウンドで何度でも楽しめます。曲に合わせて、滑らかに歌詞テロップが表示されるから、歌いやすさも抜群。さらに先進の VOICE コーラス対応で、バックコーラスもついてカラオケ BOX の臨場感に迫ります。
So-net 接続会員以外のかたも、So-net 情報会員にオンラインでご登録のうえ、ご利用になれます。
詳しくは、「KaraOK!」のヘルプをご覧ください。

## 起動方法

*1* [スタート] → [すべてのプログラム] → [Internet KaraOK!] → [カラ OK！] をクリックする

「Internet Explorer」が起動し、「KaraOK!」画面が表示されます。



## 曲をダウンロードする

*1* [KaraOK！歌本] ボタンをクリックする
インターネットへの接続画面が表示されます。

*2* インターネットに接続する

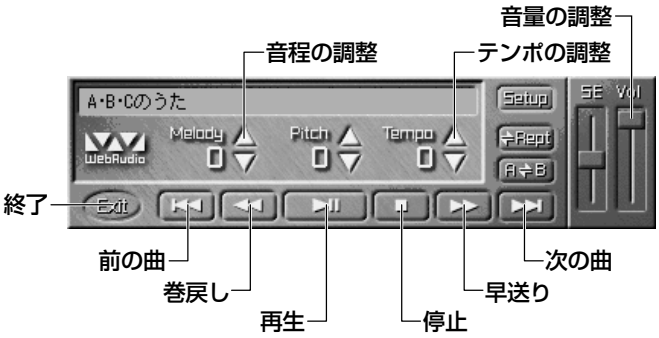
*3* 曲名インデックスから、曲を選択する

*4* ダウンロードについて、画面の指示に従って操作する
会員登録など、必要事項の入力を行なってください。

## カラオケをする

*1* 「KaraOK！」を起動する

*2* 曲名をダブルクリックする
歌の画面が表示され、再生が始まります。




## ヘルプの起動方法

*1* [KaraOK！] 画面の［?Help］ボタン（ ? Help ）をクリックする

参照 「KaraOK!」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（12）株式会社フェイス」

# 2章
# 映像や画像を楽しもう


1 DVD-Video を観る ..... 78

2 デジタルカメラの写真を編集／整理する ..... 86

3 動画を編集する ..... 90

# 1 DVD-Videoを観る

本製品のマルチドライブにDVD-Videoをセットして、迫力ある映像を楽しむことができます。
DVD-Video再生ソフトウェアとして、「InterVideo WinDVD（インタービデオ　ウィンディーブイディー）」をご用意しています。

## DVD-Videoの再生について

「InterVideo WinDVD」でDVD-Videoを再生する場合、次のことに気をつけてお使いください。

- DVD-Video再生時は、ACアダプタを接続してください。また、使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちするケースがあります。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動しないでください。

その他のご注意については、「Readme」に記載しています。
これらをよくお読みのうえ、DVD-Videoをご使用ください。

### ■「Readme」の起動

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD］→［Readme］をクリックする

メモ
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CDの再生はサポートしていません。

## 「InterVideo WinDVD」を起動する

*1* DVD-Videoをセットする

［DVD_VIDEO（E:)］画面が表示されます。

参照 DVDのセット

➲『基本をマスター 7章 8-2 CD/DVDのセットと取り出し』

*2* ［Play DVD movie InterVideo WinDVD使用］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

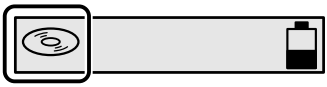
「InterVideo WinDVD」が起動します。

### ■ オーディオ／アプリケーションボタンで起動する

Windowsが起動していないときに、オーディオ／アプリケーションボタンを使って「InterVideo WinDVD」を起動できます。

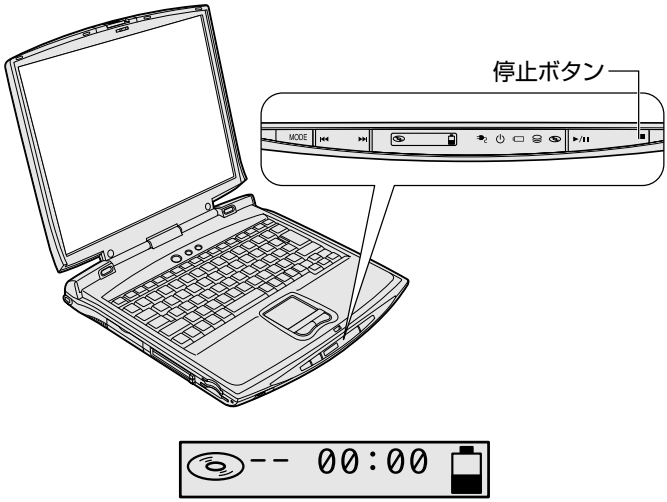
*1* モードパネルにCD／DVD再生アイコン（ ）が表示されていることを確認する

CD／DVD再生アイコンが表示されていない場合は、表示されるまで、モード切替ボタンを何度か押してください。



### *2* 停止ボタンを押す

マルチドライブの電源が入ります。しばらくしてディスクトレイが出てきます。
Power ⏻ LED は点灯しません。



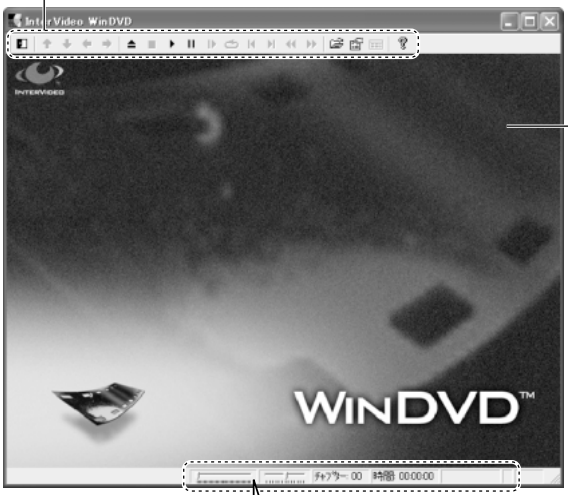

### *3* DVD-Video をセットする

ディスクトレイを閉じて、しばらくすると Windows が起動し、その後「InterVideo WinDVD」が起動します。Windows が起動するまで、数秒かかる場合があります。
DVD-Video を再生する場合は、続けて［再生］ボタンをクリックしてください。

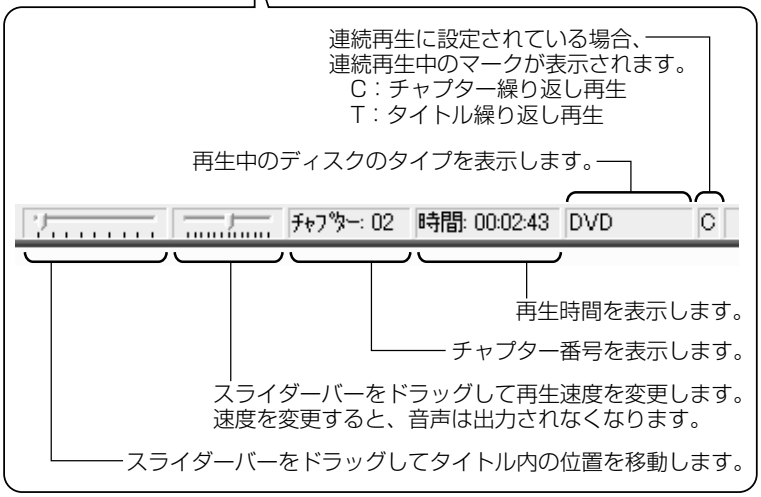
［InterVideo WinDVD］の操作ボタンの役割は次のとおりです。
再生する DVD-Video によっては、表示が一部異なる場合があります。
また、操作ボタンの一部は機能に対応している場合のみ使用できます。

# ビデオ表示ウィンドウ

**ツールバー**
WinDVDプレーヤーのボタンと同じ機能があります。
詳細については、WinDVDプレーヤーの説明を参照してください。




**メインウィンドウ**
ビデオを表示します。



# WinDVD プレーヤー

ダイヤルをドラッグして再生速度を変更します。
速度を変更すると、音声は出力されなくなります。

プレイリストウィンドウを開きます。

目盛りを上にドラッグすると音量が上がります。
下にドラッグすると音量が下がります。

スライダーバーをドラッグして
タイトル内の位置を移動します。

**カウンタ**
再生中のビデオのチャプターと
再生時間を表示します。

**最小化**
画面を最小化します。

**最大化**
画面を最大化します。

**閉じる**
WinDVDを終了します。

InterVideo社のホーム
ページを開きます。

**ブックマーク**
ブックマーク（しおり）を記録できます。

**リピート**
タイトルまたはチャプターを繰り返し再生します。

**ヘルプ**
ヘルプを表示します。

**再生**
再生を開始します。

**停止**
再生を停止します。

**ポーズ**
再生を一時停止します。

**ステップ再生**
一時停止中に押すと、
1コマずつ再生できます。

**イジェクト**
ディスクトレイを開きます。

**プロパティ**
プロパティ画面を表示
します。

拡張コントローラ
を表示します。

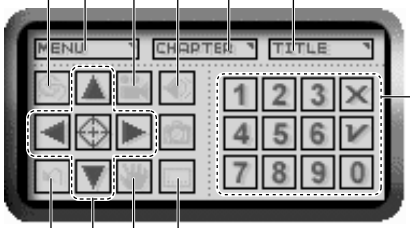
**前のチャプター**
前のチャプターに戻ります。

**早戻し**
早戻し再生します。

**早送り**
早送り再生します。

**次のチャプター**
次のチャプターに進みます。

## 拡張コントローラ




カーソルで選択した範囲を拡大表示して再生します。

すべてのメニューを表示します。

すべてのアングルを表示します。

すべてのオーディオを表示します。

すべてのチャプターを表示します。

すべてのタイトルを表示します。

**数字キー**
数字を選択する場合に使用します。
選択したい数字をクリックし、右端のチェックボタンをクリックします。

すべてのサブタイトルを表示します。

移動して表示する領域を変更します。

**矢印キー**
メニューを選択する場合に使用します。
上下左右の矢印でメニューを選択し、中央のボタンで確定します。

メニュー画面でビデオ再生を再開します。

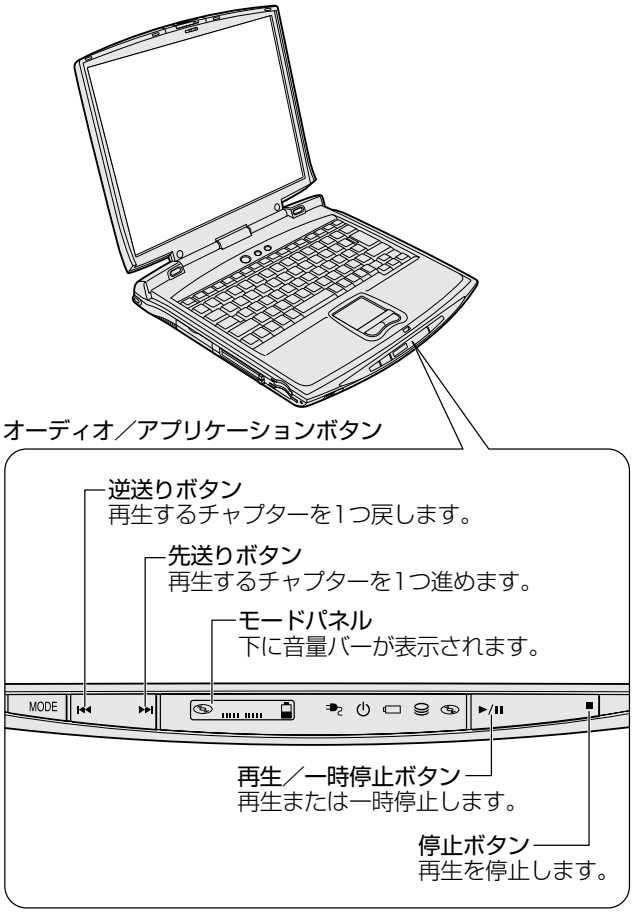
## プロパティの設定

*1* ビデオ表示ウィンドウの［プロパティ］ボタン（ ）または WinDVD プレーヤーの［プロパティ］ボタン（ ）をクリックする

［プロパティ］画面が表示されます。
各タブで設定を行なってください。

## オーディオ／アプリケーションボタンで操作する

DVD-Videoの基本操作は、オーディオ／アプリケーションボタンを使うこともできます。



## テレビに表示する

パソコン本体にテレビを接続して、DVD-Videoの再生画面をテレビに表示させることができます。テレビに表示するには、表示装置の切り替えが必要です。
表示装置の切り替えは、「InterVideo WinDVD」を起動する前に行なってください。

参照 テレビの接続、表示装置の切り替え
➲『もっとステップアップ 3章 5 テレビを接続する』

## ヘルプの起動方法

*1* ビデオ表示ウィンドウの［ヘルプ］ボタン（ ）またはWinDVDプレーヤーの［ヘルプ］ボタン（ ）をクリックする

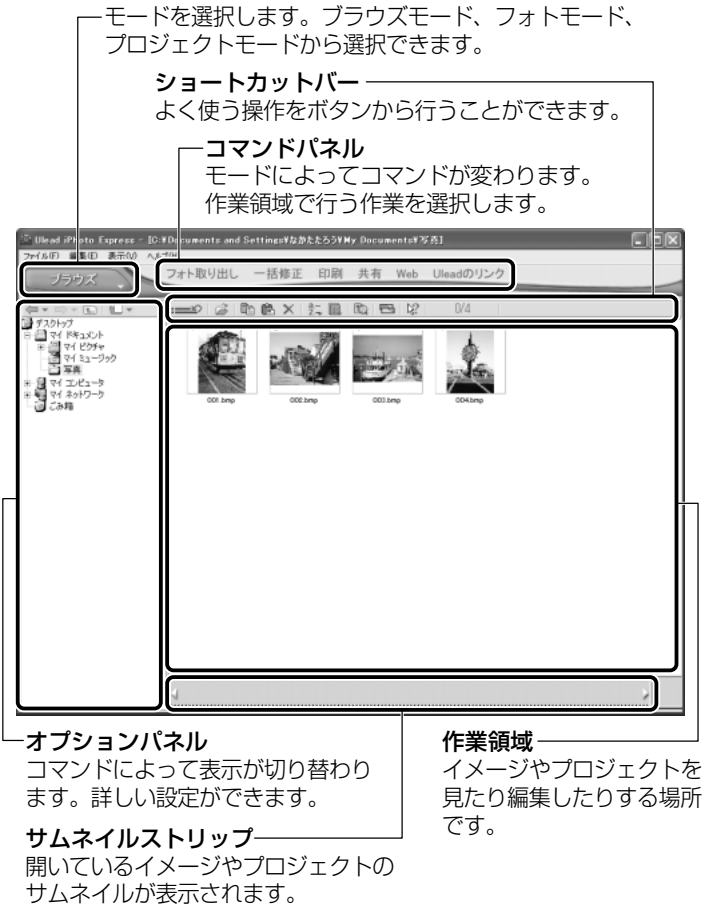
参照 「InterVideo WinDVD」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（1）東芝（東芝PCダイヤル）」

# 2 デジタルカメラの写真を編集／整理する

アプリケーション「デジカメ Walker（Ulead iPhoto Express）」を使って、写真などの画像を簡単に編集できます。編集した画像を使ってカードや Web ページを作成したり、アルバムを作って画像を管理することもできます。

## 起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［デジカメ Walker］→［Ulead iPhoto Express］をクリックする



メモ ●「デジカメ Walker（Ulead iPhoto Express）」を初めて起動したときは、［ユーザ登録］画面が表示されます。

## 写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集を加える場合について説明します。
デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』をご覧ください。

**1** ［フォト］モード（ フォト ）でコマンドパネルから［フォト取り出し］→［マイコンピュータ］をクリックする
オプションパネルに［参照中のフォルダ］が表示されます。

**2** ▼ をクリックし、表示されたメニューから編集する写真のあるフォルダをクリックする
オプションパネルにサムネイル（一覧表示画像）が表示されます。

**3** 編集する画像のサムネイルをクリックし、［開く］ボタンをクリックする

作業領域に画像が表示されます。

### *4* コマンドパネルから［編集］のメニューをクリックし、画像を加工する

次のメニューから、画像にさまざまな効果を加えることができます。

**【調整】**

傾きの修正や、画像の切り抜き、サイズや解像度の調整、明るさ／色の調整、赤目や汚れの修正などを行います。

**【選択範囲】**

用途や形、色に基づいて範囲を選択します。

**【テキスト】**

画像に文字を書き込みます。文字にもいろいろな効果を選べます。

**【ペイント】**

筆で絵に色をつけるように、画像にさまざまな効果を加えます。

**【効果】**

うねりや絵画風の加工など、特殊効果を加えます。

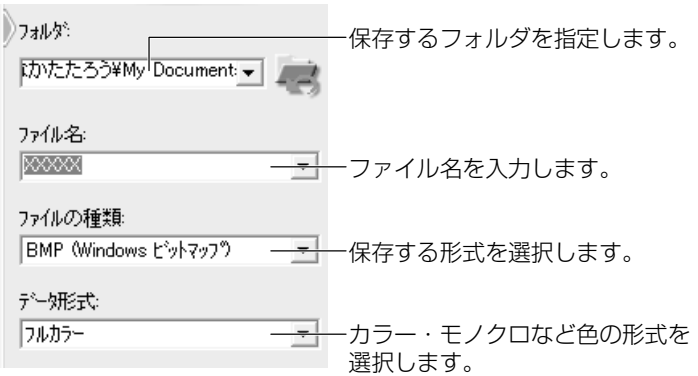
**【装飾】**

縁取りやイラスト、影の追加などが行えます。

## ■ 加工した画像を保存する

### *1* コマンドパネルから［共有］→［保存］をクリックする

オプションパネルに、保存についての項目が表示されます。




### *2* ［保存］ボタンをクリックする

## ヘルプの起動方法

*1* 「デジカメ Walker（Ulead iPhoto Express)」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［Ulead iPhoto Express のヘルプ］をクリックする

## PDF マニュアルの起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［デジカメ Walker］→［Screenbook］をクリックする

参照 PDF マニュアルの見かた ➲「3 章 10 PDF ファイルを見る」

参照 「デジカメ Walker（Ulead iPhoto Express)」のお問い合わせ先 ➲「付録 1-（11）ユーリードテクニカルサポート」

# 3 動画を編集する

アプリケーション「MotionDV STUDIO（モーションディーブイ スタジオ）」を使って、デジタルビデオカメラの画像を編集できます。
デジタルビデオカメラを i.LINK（IEEE1394）コネクタに接続して、撮影した画像をパソコンに取り込みます。特殊効果やタイトル、BGM などをつけて編集し、さまざまな形式で保存できます。

## 起動方法

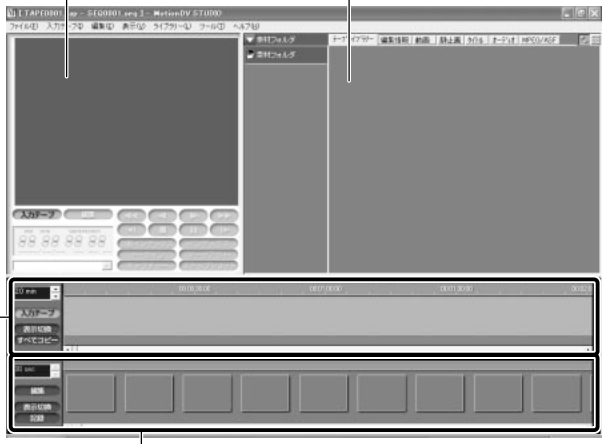
*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Panasonic］→［MotionDV STUDIO］→［MotionDV STUDIO］をクリックする

メモ
- はじめて「MotionDV STUDIO」を起動したときは、［Panasonic MotionDV STUDIO 使用許諾書］画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、［同意します］ボタンをクリックしてください。

「MotionDV STUDIO」の画面の概要は次のとおりです。

**コントロール画面**
接続したデジタルビデオカメラをコントロールします。
また取り込んだ映像の再生などを行います。

**ライブラリー画面**
取り込んだ映像や作った画像
などをアイコンで表示します。



**編集トラック**
映像やビデオクリップを編集します。

**入力テープトラック**
接続したデジタルビデオカメラの映像を表示します。

## デジタルビデオカメラを接続する

デジタルビデオカメラをお使いになる場合、次の手順で正しく接続されているか確認してください。

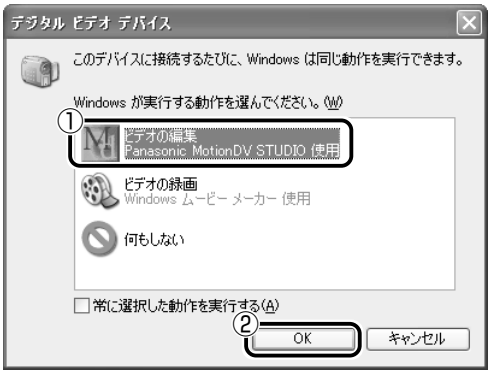
*1* i.LINK（IEEE1394）ケーブルをパソコン本体に接続する

参照 i.LINK ケーブルの接続
➲『もっとステップアップ 3章 6 i.LINK（IEEE1394）対応機器を接続する』

*2* ケーブルのもう一方のプラグをデジタルビデオカメラに接続する

*3* デジタルビデオカメラの電源を入れる
［デジタル ビデオ デバイス］画面が表示されます。

*4* ［ビデオの編集 Panasonic MotionDV STUDIO 使用］が選択されていることを確認し①、［OK］ボタンをクリックする②




「MotionDV STUDIO」が起動します。

## ヘルプの起動方法

*1* 「MotionDV STUDIO」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［ヘルプ］をクリックする

## PDF マニュアルの起動方法

*1* [スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic] → [MotionDV STUDIO] → [取扱説明書] をクリックする

参照 PDF マニュアルの見かた ➲「3 章 10 PDF ファイルを見る」

参照 「MotionDV STUDIO」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（13）松下電器産業株式会社 AVC 社 お客様ご相談センター」

# 3章
# お役立ちソフトを使おう


1 電車の運賃や最短ルートを調べる ..... 96
2 地図を見る ..... 103
3 家計簿をつける ..... 108
4 年賀状や暑中見舞いを作る ..... 111
5 スケジュールを管理する ..... 121
6 国語／英和／和英辞典を使う ..... 127
7 ホームページを翻訳する ..... 130
8 案内状や報告書を作る ..... 134
9 表やグラフを作る ..... 140
10 PDF ファイルを見る ..... 148

# 1 電車の運賃や最短ルートを調べる

お出かけのときに、アプリケーション「駅すぱあと」を使って、鉄道のさまざまな情報（最適路線・運賃・所要時間など）をすばやく検索できます。
鉄道と飛行機、バスを組み合わせた検索も可能です。

## 起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［駅すぱあと 全国版］→［駅すぱあと］をクリックする

### ■ 日にちの設定

調べる日にちを設定します。

*1* 日付ボタンをクリックする

日付ボタンには、今日の日付が表示されています。

［出発日設定］画面が表示されます。

*2* 調べたい日にちをクリックし①、[OK] ボタンをクリックする②

ここでは「8月26日」に設定します。

メモ ● カレンダーの下にあるスクロールバーの ◀ ▶ をクリックすると、表示する月を切り換えることができます。

日付ボタンに設定した日にちが表示されます。

## 経路の探索をする

### *1* ［出発地］と［目的地］を入力する

ここでは出発地を「新宿」、目的地を「東京国際空港」を例に説明します。

① 路線図から「新宿」をダブルクリックする
［出発地］に新宿と入力されます。

② キーボードから［目的地］に「東京国際空港」と入力する
［駅選択］画面が表示されますので、「東京国際空港」を選択し［決定］ボタンをクリックしてください。路線図の「東京国際空港」に枠が表示されます。

出発地や目的地は、次の方法でも入力できます。

・［路線からの駅選択］ボタン（ ）をクリックして駅を選択する

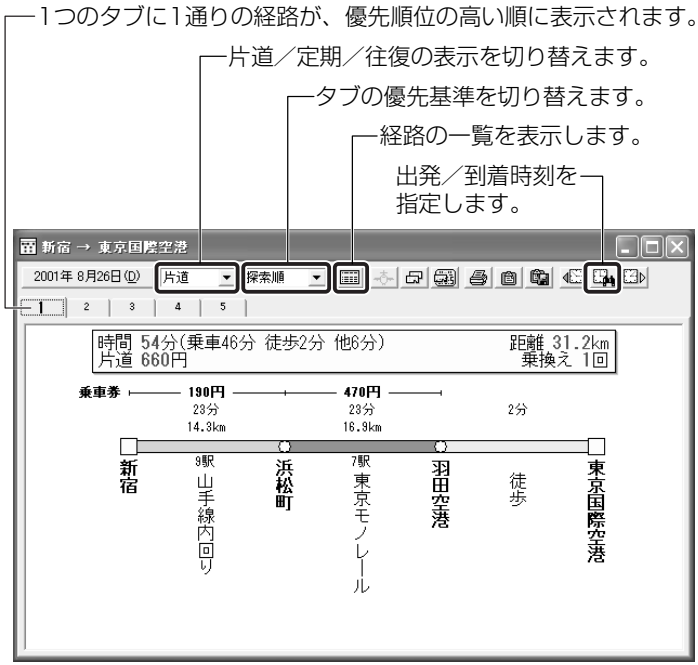
・［乗り継ぎ駅選択］ボタン（ ）をクリックして駅を選択する（目的地のみ）

・［ランドマーク選択］ボタン（ ）をクリックして、目標物（遊園地など）を選択する

・［バス停］ボタン（ ）をクリックしてバス停を選択する

*2* ［経路の探索］ボタン（ 経路の探索 ）をクリックする

結果が表示されます。



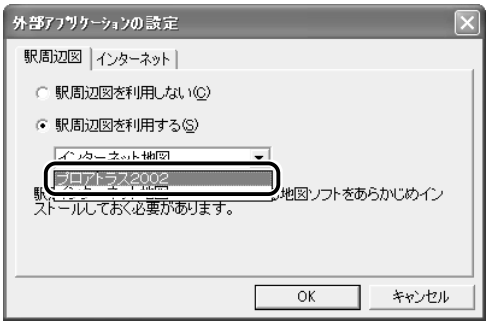

さらに、画面上でポインタが指の形（ ）になるところでクリックすると、表示されるメニューから詳しい情報を調べることができます。

## 「プロアトラス 2002」とあわせて使う

「駅すぱあと」は、「プロアトラス 2002」と連動して地図の表示ができます。

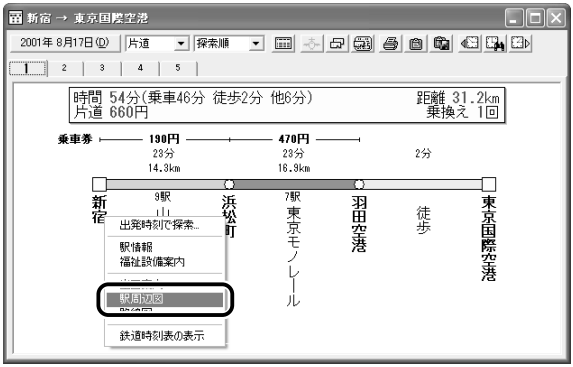
*1* メニューバーから［オプション］→［アプリケーション接続の設定］をクリックする

*2* ［駅周辺図］タブで［駅周辺図を利用する］をチェックし、▼ ボタンをクリックして［プロアトラス 2002］を選択する




*3* ［OK］ボタンをクリックする

*4* 路線図の駅名または探索結果画面の駅名を右クリックし、表示されたメニューから［駅周辺図］をクリックする



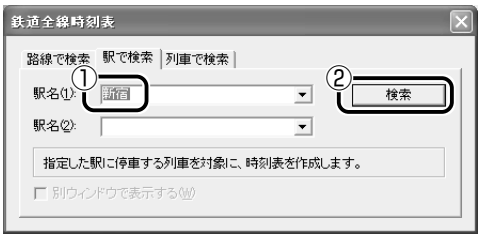

「プロアトラス 2002」が起動し、駅周辺図が表示されます。

## 時刻表を調べる

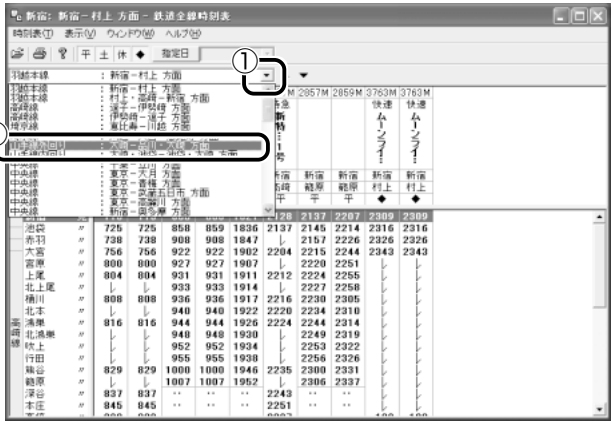
電車や飛行機の時刻表を調べます。
ここでは電車「山手線 新宿駅発 品川方面」を例に説明します。

*1* ［鉄道時刻表の表示］ボタン（ ）をクリックする

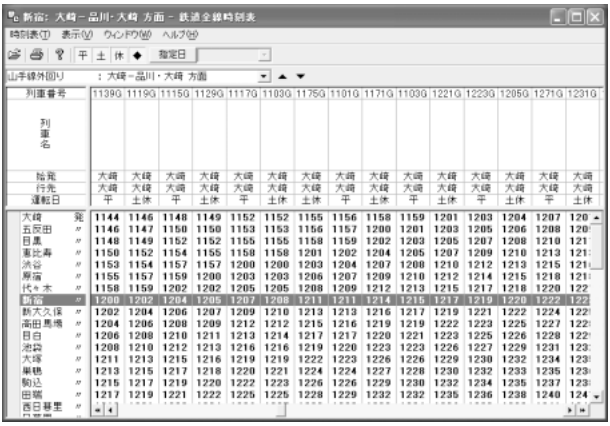
*2* ［駅で検索］タブに「新宿」と入力し①、［検索］ボタンをクリックする②




*3* 路線名の ▼ ボタンをクリックし①、路線を選択する②
ここでは「山手線外回り」を選択します。



時刻表が表示されます。



飛行機の時刻表の場合は［航空時刻表の表示］ボタン（ ）をクリックして、電車と同じように調べます。

## ヘルプの起動方法

*1* 「駅すぱあと」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［ヘルプ目次の表示］をクリックする

## PDF マニュアルの起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［駅すぱあと 全国版］→［駅すぱあとオンラインマニュアル］をクリックする

参照 PDF マニュアルの見かた ➲「本章 10 PDF ファイルを見る」

参照 「駅すぱあと」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（7）株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター」

# 2 地図を見る

お出かけのときに、アプリケーション「プロアトラス 2002」を使って、地図で場所を調べることができます。



## 起動方法

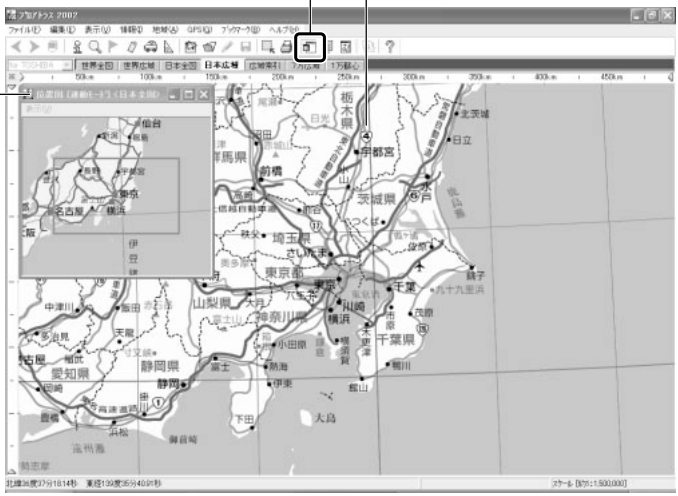
*1* [スタート] → [すべてのプログラム] → [ALPSMAP] → [プロアトラス 2002] をクリックする

画面の概要は次のとおりです。

**位置図ウィンドウ**
地図ウィンドウと連動します。地図ウィンドウとあわせて使うと位置関係などが把握しやすくなります。

クリックして位置図ウィンドウの表示／非表示を切り替えます。

**地図ウィンドウ**
ここに地図が表示されます。



## 場所の検索をする

次の４つから検索方法が選べます。

・住所
・郵便番号
・施設
・URL

ここでは例として、施設から「東京タワー」の周辺地図を調べます。

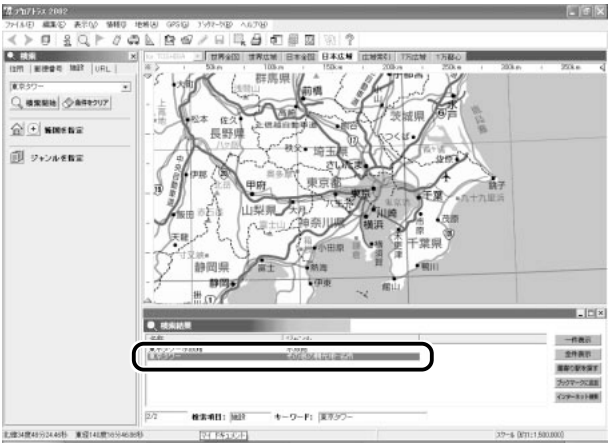
***1*** ［位置図の表示 / 非表示］ボタン（ ）をクリックする
位置図が非表示になります。

***2*** ［検索を開く］ボタン（ ）をクリックする
地図ウィンドウの左に［検索］画面が表示されます。

***3*** ［施設］タブをクリックする

***4*** 「東京タワー」と入力し、［検索開始］ボタンをクリックする
地図の下に［検索結果］画面が表示され、候補が一覧表示されます。

***5*** ［東京タワー　その他の観光地・名所］をダブルクリックする
東京タワーを中心とした地図が表示されます。



【最寄り駅を検索する】

*1* ［検索結果］画面の［最寄り駅を探す］ボタンをクリックする
検索結果が表示されます。

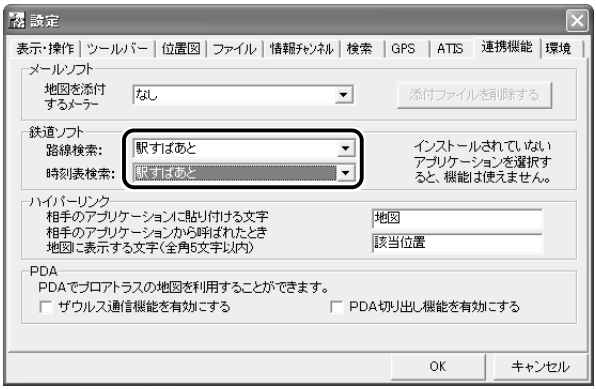
駅名を選択して［地図に表示］ボタンをクリックすると、最寄り駅の地図が表示されます。

## 「駅すぱあと」とあわせて使う

「プロアトラス 2002」は、「駅すぱあと」と連動して路線や時刻表の検索ができます。

*1* メニューバーから［編集］→［設定］をクリックする

*2* ［連携機能］タブで［鉄道ソフト］の［路線検索］、［時刻表検索］でそれぞれ［駅すぱあと］を選択する




*3* ［OK］ボタンをクリックする

## ■ 路線を検索する

*1* 出発地の最寄り駅を検索する

参照 最寄り駅検索 ➲「本節 - 場所の検索をする」

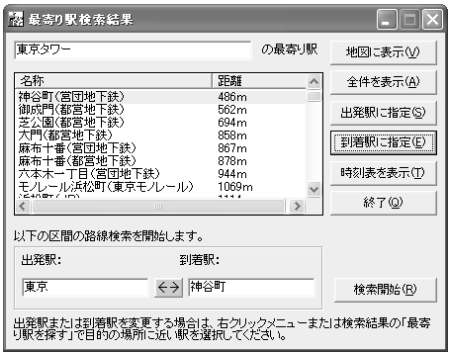
*2* ［最寄り駅検索結果］画面から出発駅を選択し、［出発駅に指定］ボタンをクリックする

*3* 到着地の最寄り駅を検索する

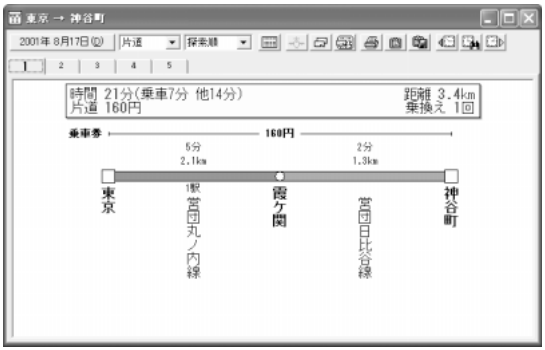
参照 最寄り駅検索 ➲「本節 - 場所の検索をする」

*4* ［最寄り駅検索結果］画面から到着駅を選択し、［到着駅に指定］ボタンをクリックする

*5* ［検索開始］ボタンをクリックする




「駅すぱあと」が起動し、路線の検索結果が表示されます。



## ヘルプの起動方法

*1* 「プロアトラス 2002」を起動後、ツールバーから［ヘルプ／トピックの一覧］ボタン（  ）をクリックする

参照 「プロアトラス 2002」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（6）株式会社アルプス社 ユーザーサポートセンター」

# 3 家計簿をつける

アプリケーション「てきぱき家計簿マム３」を使って、パソコンで家計簿をつけられます。
日々のお買い物に便利なレシート入力、グラフ表示もできる底値表、多彩なグラフ表示など、毎日のお買い物からカード、口座・ローン管理まで家計管理はばっちりです。

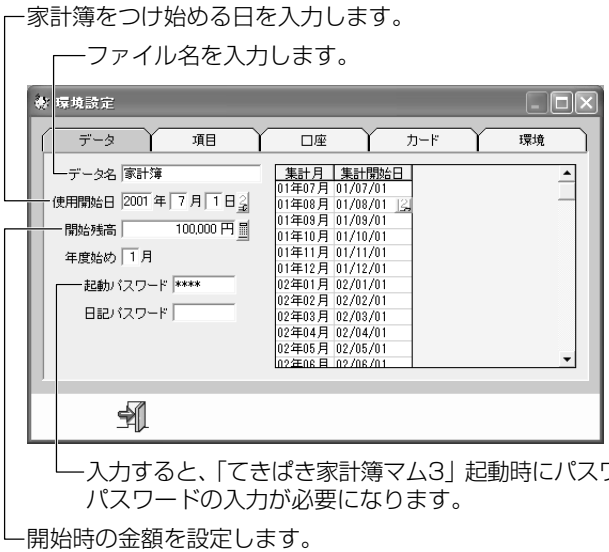
## 起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［てきぱき家計簿マム３］→［てきぱき家計簿マム３］をクリックする

## 収入と支出の入力をする

ここでは、簡単に収入と支出の入力について説明します。

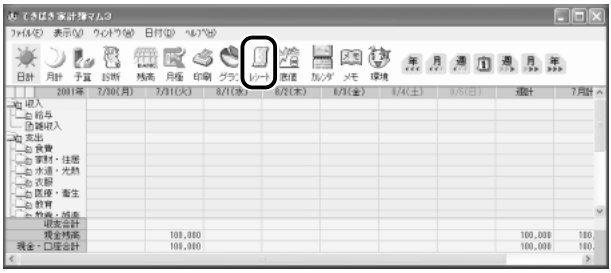
*1* ［データ］タブで、基本的な設定を行う



### 2 [設定完了] ボタン（ ）をクリックする

［起動パスワード］を設定した場合は、［起動パスワードの確認］画面が表示されます。パスワードを入力し［OK］ボタンをクリックしてください。
家計簿の画面が表示されます。

### 3 [レシート入力] ボタン（ ）をクリックする



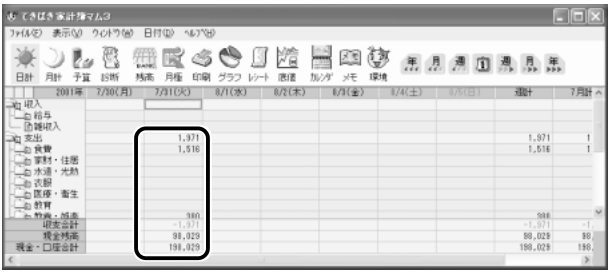
メモ ● 先ほど入力した開始残高が、［現金残高］に表示されています。

### 4 買い物の内訳を入力する

レシートを詳しく転記することもできます。ここでは、店ごとに金額をまとめて入力しています。
入力後、Enterキーを押すと次の項目へ移動します。

*5* ［レシートの転記］ボタン（ ）をクリックする

*6* ［戻る］ボタン（ ）をクリックする
家計簿の画面に戻ると、レシートで転記した項目が計算されています。



## ヘルプの起動方法

*1* 「てきぱき家計簿マム３」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［目次］をクリックする

## PDF マニュアルの起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［てきぱき家計簿マム３］→［マニュアル］をクリックする

参照 PDF ファイルの見かた ➲「本章 10 PDF ファイルを見る」

参照 「てきぱき家計簿マム３」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（9）テクニカルソフト株式会社 サポートセンター」

# 4 年賀状や暑中見舞いを作る

アプリケーション「筆ぐるめ」を使って、年賀状や暑中見舞い、お誕生日カードなどの美しいはがきを作ることができます。
一度住所を登録してしまえば、その後は宛名を書かなくても簡単に印刷できます。また、はがきだけでなく、封筒、ミニ写真シール、ポスターなども作ることができます。印刷には、プリンタが必要です。

筆ぐるめには、1 つずつ手順を追って操作を誘導する「ナビ機能」があります。ナビ機能についての詳細や、その他の操作の詳細については、PDF 形式説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

## 起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［筆ぐるめ］→［筆ぐるめ］をクリックする

メモ
- 「筆ぐるめ」を起動すると、［筆ぐるめ－お知らせ］画面が表示されます。その後、［筆ぐるめ－ナビゲーション］画面と［筆ぐるめ for Windows］画面が表示されます。

## おもて面の作成

おもて面では、宛て先や差出人の住所などを設定します。 ボタンをクリックすると、［うら面］画面と［おもて面］画面が切り替わります。

*1* ［住所録］ボタン（ 住所録 ）をクリックする

*2* 画面下部の［新規］ボタン（ 新規 ）をクリックする
［筆ぐるめ－住所録設定］画面が表示されます。

*3* ［住所録名］を入力し①、［OK］ボタンをクリックする②

作成した住所録の［宛て名］画面に切り替わります。

*4* ［宛て名］画面の各項目を入力する
郵便番号と住所はどちらかを入力して 〒 ボタンをクリックすると、もう一方が自動的に入力されます。

**5** ［保存］ボタン（ 保存 ）をクリックする

入力した情報が保存されます。新たに入力する場合は、［新規］ボタンをクリックしてください。

**6** ［用紙］ボタン（ 用紙 ）をクリックする

［用紙］画面に切り替わります。

**7** 用紙の種類①、文字の配置②を選択する

ここでは「官製はがき」①、「縦置き 縦書き 1」②を選択します。

**8** ［差出人］ボタン（ 差出人 ）をクリックする

［差出人］画面に切り替わります。

**9** ［差出人］画面で各項目を入力する

## *10* ［フォント］ボタン（ 書フォント ）をクリックする

［フォント］画面に切り替わります。

## *11* 宛て先や差出人のフォントを指定する

ここでは「正調祥南行書体 EX」を選択します。

これでおもて面が作成できました。

メモ

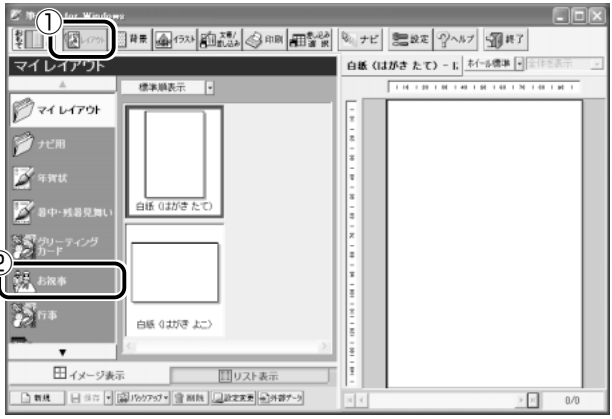
- 印刷する場合は、あらかじめプリンタに接続しておく必要があります。［印刷／メール］ボタン（ 印刷/メール ）をクリックし、各項目を入力します。設定したら、［印刷］ボタン（ 印刷 ）をクリックしてください。

## うら面の作成

うら面では、レイアウトやイラスト、文書など、はがきの文面を作成します。 おもて うら ボタンをクリックすると、［おもて面］画面と［うら面］画面が切り替わります。ここではお誕生日カードを作成します。

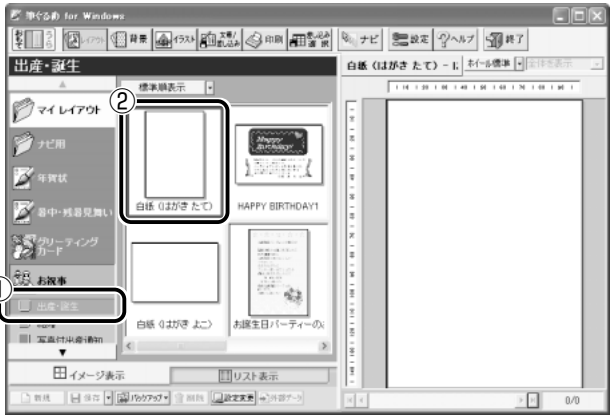
*1* ［レイアウト］ボタン（ レイアウト ）をクリックし①、作りたいはがきの場面（シーン）をクリックする②

シーンを選択すると、シーンに合わせたレイアウト、背景、イラストなどを選択できるようになります。
ここでは「お祝事」を選択します。




*2* 使用するレイアウトを選ぶ

ここでは［出産・誕生］①の［白紙（はがき たて）］②を選択します。

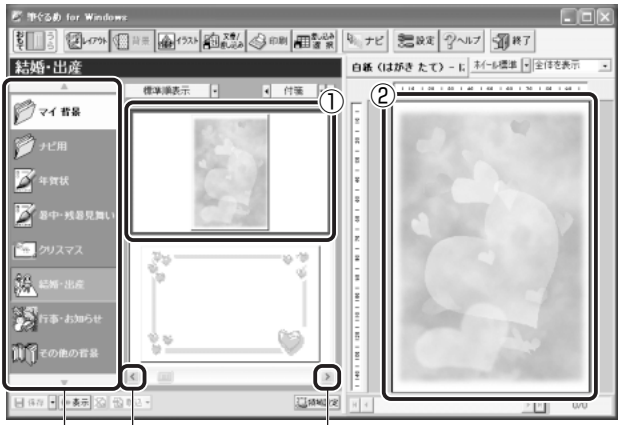


### 3 ［背景］ボタン（ 背景 ）をクリックする

［背景］画面に切り替わります。

### 4 使用する背景をクリックする①

選択した背景が表示されます②。




背景の候補が切り替わります。

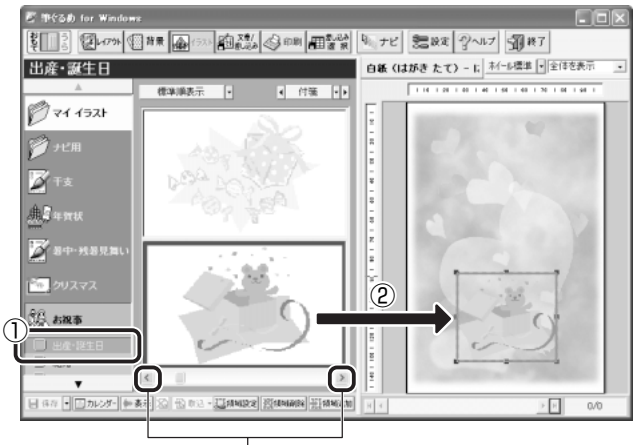
各項目をクリックすると、他の場所（シーン）にある背景のサンプルを選択できます。選択されている項目は、へこんだように表示されます。

### 5 ［イラスト］ボタン （ イラスト ）をクリックする

［イラスト］画面に切り替わります。

### *6* 使用するイラストをプレビュー画面へドラッグアンドドロップする

ここでは［出産・誕生日］①のくまのイラスト②をドラッグアンドドロップします。イラストを挿入したら、必要に応じてイラストの大きさを調節してください。



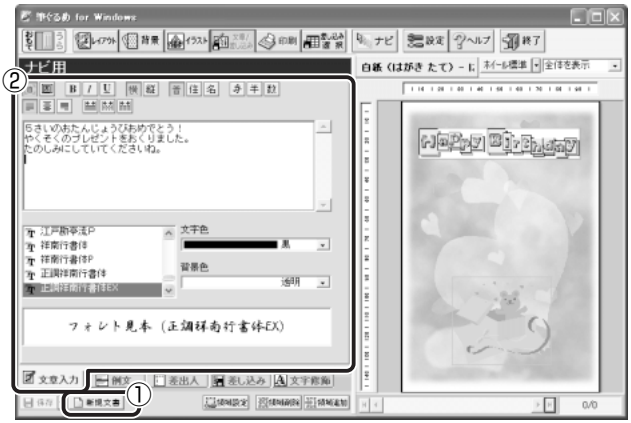

同じようにして、必要なだけイラストを挿入します。

### *7* ［文章／差し込み］ボタン（ 文章/差し込み ）をクリックする

［文章／差し込み］画面に切り替わります。

**8** ［新規文書］ボタン（ 新規文書 ）をクリックし①、［文章入力］タブで文章を入力する②

［例文］タブで例文を選び、［文章入力］タブで修正を加えることもできます。




**9** 文章の入力が終わったら、［領域追加］ボタン（ 領域追加 ）をクリックする①

文章が追加されます②。

必要に応じて、文章の位置や大きさを調整し、フォントや文字の色を設定してください。

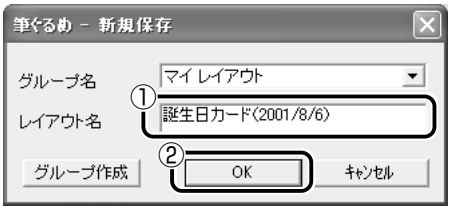
*10* ［レイアウト］ボタン（ レイアウト ）をクリックする

［レイアウト］画面に切り替わります。

*11* ［保存］ボタンの右の ▼ ボタンをクリックし①、［新規保存］をクリックする②

［筆ぐるめ－新規保存画面］が表示されます。

*12* レイアウト名を入力し①、［OK］ボタンをクリックする②




うら面が保存されました。

メモ ● 印刷する場合は、あらかじめプリンタに接続しておく必要があります。［印刷］ボタン（ 印刷 ）をクリックし、各項目を入力します。設定したら、［印刷］ボタン（ 印刷 ）をクリックしてください。

## ヘルプの起動方法

*1* 「筆ぐるめ」を起動後、［ヘルプ］ボタン（ ）をクリックする



参照 「筆ぐるめ」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（8）富士ソフト ABC 株式会社 インフォメーションセンター」

# 5 スケジュールを管理する

アプリケーション「Microsoft（マイクロソフト） Outlook（アウトルック）」を使って、予定表・連絡先などを簡単に管理できます。



## 起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Outlook］をクリックする

デスクトップにある［Microsoft Outlook］アイコン（ ）をダブルクリックしても起動できます。

メモ
- 「Microsoft Word」、「Microsoft Excel」、「Microsoft Outlook」のいずれかを初めて起動したときは、［ユーザー名の指定］画面と［Office XP 使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。
- 「Microsoft Outlook」を起動すると、最初に［Outlook 2002 スタートアップ］画面が表示されます。画面に従って操作してください。

## スケジュールを管理する

スケジュールは「予定表」で設定します。

### *1* ［予定表］アイコンをクリックする

［予定表］画面が表示されます。

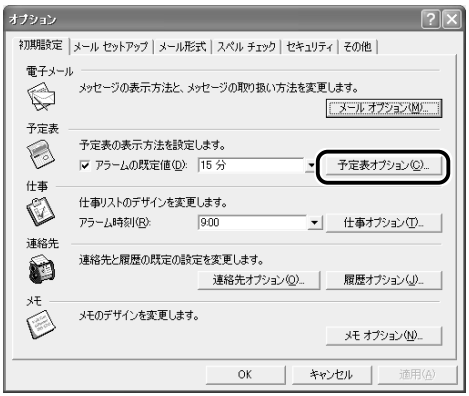
### ■ 祝日の登録

初期設定では、予定表に祝日が登録されていません。祝日の登録は次の手順で行います。

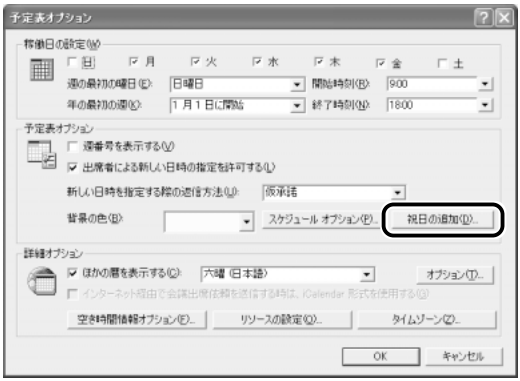
### *1* メニューバーから［ツール］→［オプション］をクリックする

［オプション］画面が表示されます。

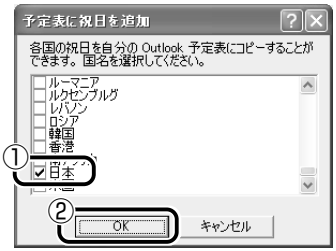
### *2* ［予定表オプション］ボタンをクリックする



*3* ［祝日の追加］ボタンをクリックする

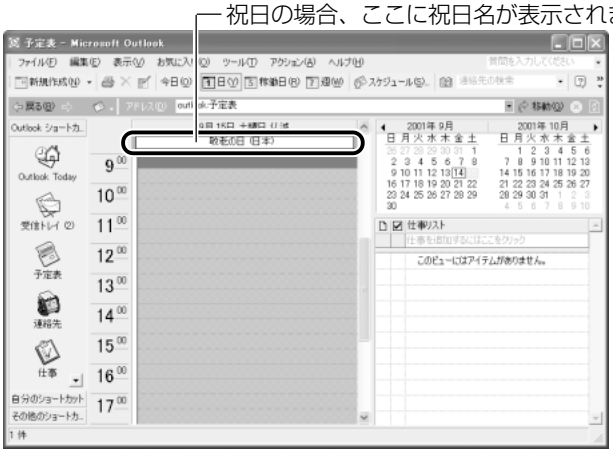



*4* ［日本］を選択し①、［OK］ボタンをクリックする②



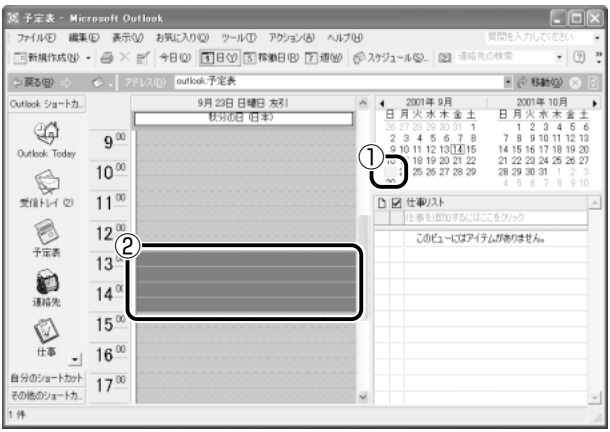

*5* ［予定表に祝日が追加されました。］のメッセージ、［予定表オプション］、［オプション］画面でそれぞれ［OK］ボタンをクリックして閉じる

［予定表］画面に戻ります。



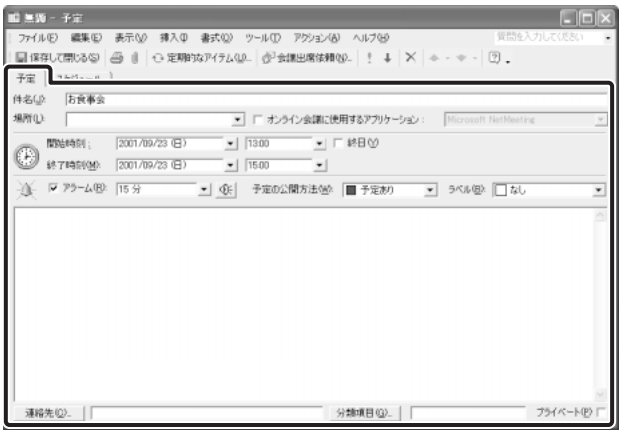
## ■ 予定表の登録

*1* 予定する日をクリックし①、登録する予定の開始時刻から終了時刻までドラッグして選択する②
ここでは「2001 年 9 月 23 日 13:00 から 15:00」を例に説明します。




*2* ツールバーの［新規作成］ボタン（ 新規作成(N) ）をクリックする

*3* ［予定］タブで件名、アラームを鳴らす時間などを入力する

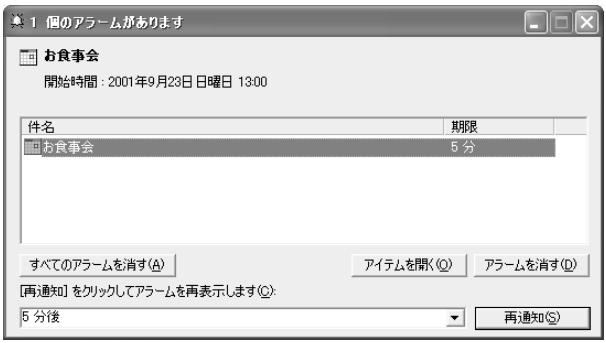



メモ ● 毎週決まっている予定などは、［定期的なアイテム］ボタンをクリックして定期的に予定を表示させることができます。

4 [保存して閉じる] ボタン（ 保存して閉じる(S) ）をクリックする

予定表に予定が表示されます。

アラームを設定した場合、予定のある日に「Microsoft Outlook」を起動すると、設定した時間に次のような画面が表示され、予定を知ることができます。



## ヘルプの起動方法

*1* 「Microsoft Outlook」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［Microsoft Outlook ヘルプ］をクリックする

参照 「Microsoft Outlook」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（2）マイクロソフト株式会社 お問い合わせ各種窓口」

# 6 国語／英和／和英辞典を使う

アプリケーション「Microsoft（マイクロソフト） Bookshelf（ブックシェルフ） Basic（ベーシック）」を使って、三省堂の新明解国語辞典、研究社の英和・和英中辞典から目的の単語を検索できます。



## 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Reference］→［Microsoft Bookshelf Basic］をクリックする

## 語句を検索する

1 ［検索］に、調べたい語句を入力する
ここでは「りんご」と入力します。

2 ［索引検索］をチェックする

3 ［実行］ボタンをクリックする

検索結果が複数の辞書にある場合は、タブをクリックして辞書を切り替えられます。

## ■ 発音を確認する

英和辞典で単語の右にサウンドアイコンがある場合、クリックすると発音を聞くことができます。

## QuickShelf を使う

「Internet Explorer」や「Microsoft Word」など、一部のアプリケーションから Bookshelf にリンクして、単語を検索することができます。

1 検索したい語句をドラッグして選択する

2 選択した語句を右クリックする
メニューが表示されます。

3 ［定義］または［Bookshelf で検索］をクリックする
Bookshelf が起動し、選択した語句についての検索結果が表示されます。

## ヘルプの起動方法

1 「Microsoft Bookshelf Basic」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［Microsoft Bookshelf Basic ヘルプ］をクリックする

参照 「Microsoft Bookshelf Basic」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（2）マイクロソフト株式会社 お問い合わせ各種窓口」

# 7 ホームページを翻訳する

アプリケーション「The 翻訳(ザ ほんやく)インターネット」を使って、英語のページを日本語で、日本語のページを英語で表示できます。電子メールを翻訳し、原文と訳文を並べて表示したり、画面の文字にポインタを合わせるだけで翻訳したりできます。

## 起動方法

### ■ 英日翻訳

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［The 翻訳インターネット英日］→［インターネット翻訳］をクリックする

### ■ 日英翻訳

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［The 翻訳インターネット日英］→［インターネット翻訳］をクリックする

メモ
- 初めて起動したときは、［ソフトウェア使用許諾契約］画面が表示されます。内容を読んで［同意する］ボタンをクリックしてください。

## 英語のホームページを日本語で表示する

インターネットに接続し、「The 翻訳インターネット英日」を使って、英語のホームページを日本語で表示する方法を説明します。

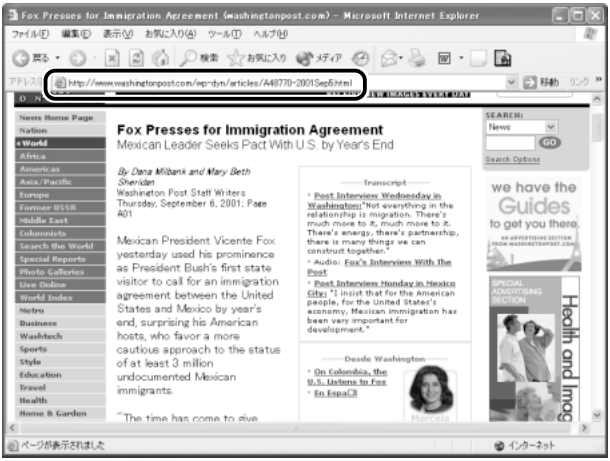
*1* 「The 翻訳インターネット 英日」を起動する

［インターネット翻訳］画面と対象ブラウザが表示されます。

［インターネット翻訳］画面

対象ブラウザ

## 2 英語のホームページを表示する




## 3 [ページ翻訳] ボタンをクリックする

メモ ● 複数のブラウザを起動している場合、[タイトル選択ダイアログ] 画面が表示されます。翻訳したいページのタイトルを選択し、[翻訳] ボタンをクリックしてください。

選択したページが翻訳されます。

## ヘルプの起動方法

### ■ 英日翻訳

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [The 翻訳インターネット英日 ] → [翻訳用ヘルプ] から読みたいヘルプをクリックする

### ■ 日英翻訳

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [The 翻訳インターネット日英 ] → [翻訳用ヘルプ] から読みたいヘルプをクリックする

## PDF マニュアルの起動方法

### ■ 英日翻訳

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [The 翻訳インターネット英日 ] → [操作説明書] をクリックする

### ■ 日英翻訳

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [The 翻訳インターネット日英 ] → [操作説明書] をクリックする

参照 PDF マニュアルの見かた ➲「本章 10 PDF ファイルを見る」

参照 「The 翻訳インターネット」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（4）東芝翻訳サポートセンタ」

# 8 案内状や報告書を作る

アプリケーション「Microsoft（マイクロソフト） Word（ワード）」を使って、美しい文書を簡単に作ることができます。文字の種類や大きさを決めたり、文書に表やさし絵を入れたり、他のソフトで作った画像やグラフを貼り付けたりできます。

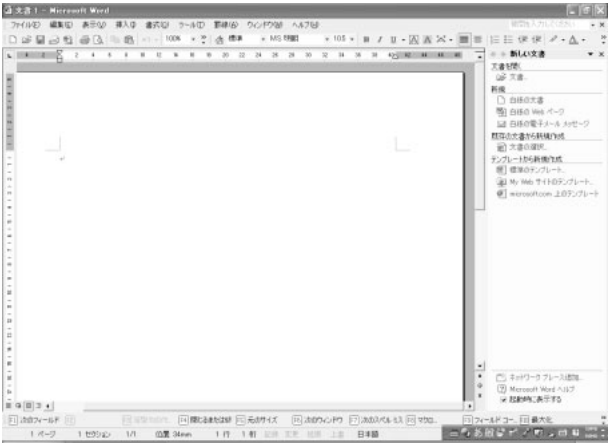
## 起動方法

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Word］をクリックする

メモ

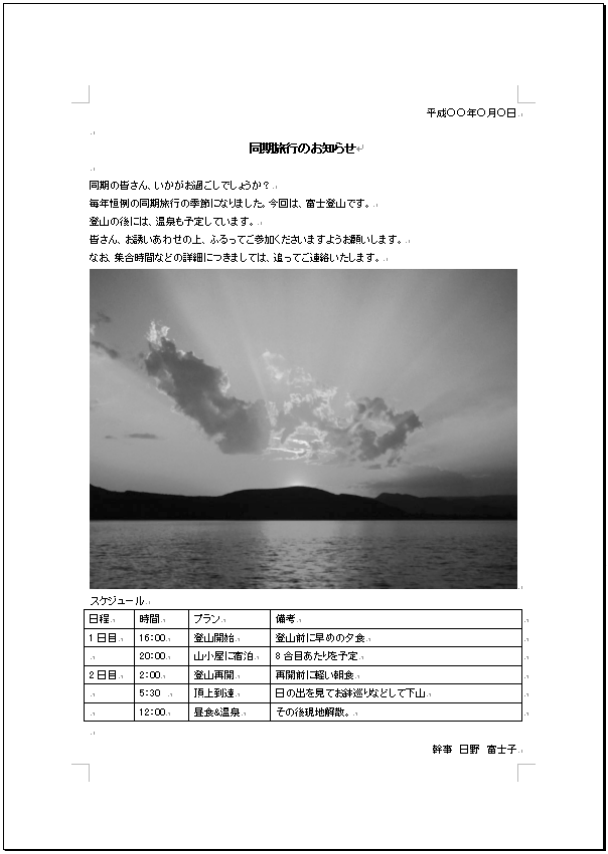
- 「Microsoft Word」、「Microsoft Excel」、「Microsoft Outlook」のいずれかを初めて起動したときは、［ユーザー名の指定］画面と［Office XP 使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。

Word を起動すると、新規の文書画面が開いています。



## 文書を作成する

簡単な表とイラストが入った次の文書を例に、Word を使った文書の作成方法を説明します。



平成○○年○月○日

**同期旅行のお知らせ**

同期の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？
毎年恒例の同期旅行の季節になりました。今回は、富士登山です。
登山の後には、温泉も予定しています。
皆さん、お誘いあわせの上、ふるってご参加くださいますようお願いします。
なお、集合時間などの詳細につきましては、追ってご連絡いたします。

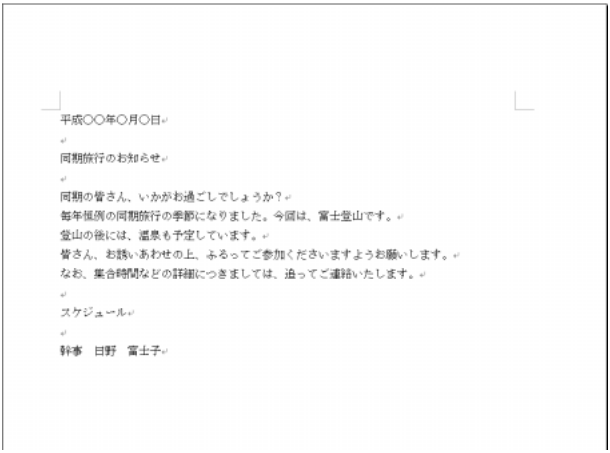
スケジュール

| 日程 | 時間 | プラン | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1日目 | 16:00 | 登山開始 | 登山前に早めの夕食 |
| | 20:00 | 山小屋に宿泊 | 8合目あたりを予定 |
| 2日目 | 2:00 | 登山再開 | 再開前に軽い朝食 |
| | 5:30 | 頂上到達 | 日の出を見てお鉢巡りなどして下山 |
| | 12:00 | 昼食&温泉 | その後現地解散。 |

幹事 日野 富士子

## *1* 文字を入力する

参照 文字入力について ➲『基本をマスター ４章 文字を入力しよう』




## *2* 文字のフォントと大きさを設定する

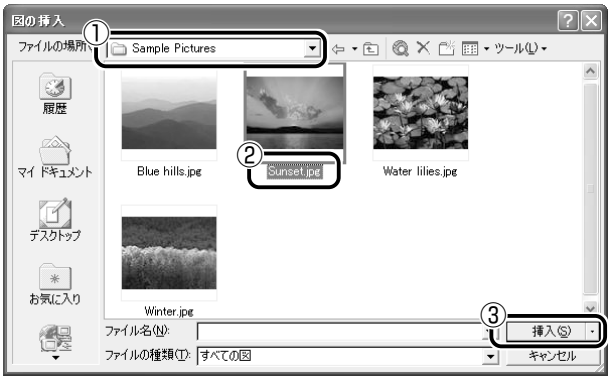
① 文字を選択し、メニューバーから［書式］→［フォント］をクリックする

② ［フォント］タブでフォントの種類やサイズを変更し、［OK］ボタンをクリックする

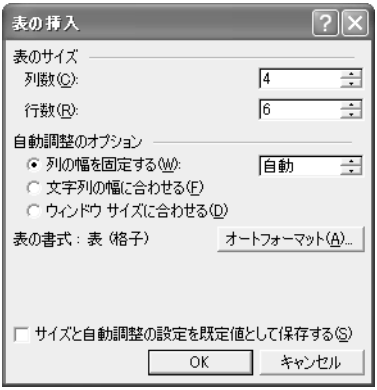
*3* メニューバーから［挿入］→［図］→［ファイルから］をクリックする

［図の挿入］画面が表示されます。

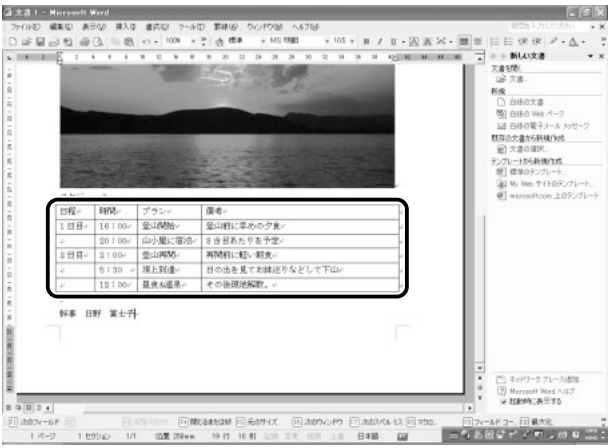
*4* ［ファイルの場所］を指定し①、イラストのファイル名をクリックして②、［挿入］ボタンをクリックする③



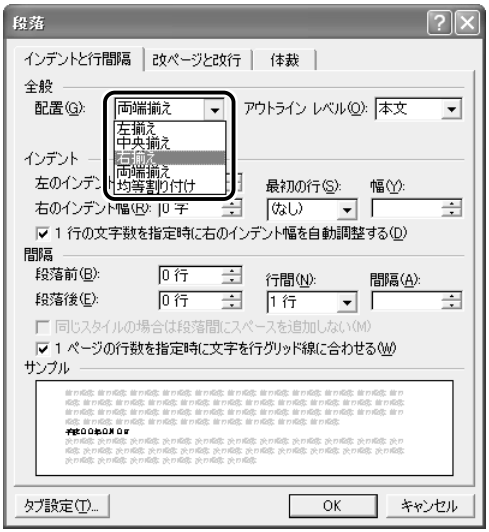

*5* メニューバーから［罫線］→［挿入］→［表］をクリックし、表の形式を設定する



*6* 表に文字を入力する



*7* メニューバーから［書式］→［段落］をクリックし、［インデントと行間隔］タブで各行の文字の配置を設定する




*8* メニューバーから［ファイル］→［名前を付けて保存］をクリックする

*9* ファイル名を入力し①、［保存］ボタンをクリックする②

作成したファイルが保存されました。

## ヘルプの起動方法

*1* 「Microsoft Word」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［Microsoft Word ヘルプ］をクリックする

参照 「Microsoft Word」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（2）マイクロソフト株式会社 お問い合わせ各種窓口」

# 9 表やグラフを作る

アプリケーション「Microsoft（マイクロソフト） Excel（エクセル）」を使って、見積書や請求書、数字の多い報告書などを簡単に作ることができます。項目や数字を入力して表を作り、計算式を設定すると自動的に計算を行うことができます。また入力した数字からグラフを作ることもできます。

## 起動方法

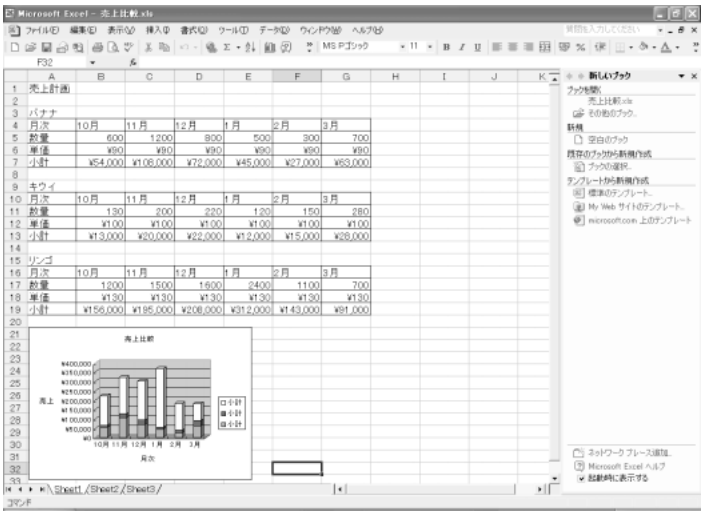
*1* ［スタート］→［プログラム］→［Microsoft Excel］をクリックする

メモ

- 「Microsoft Word」、「Microsoft Excel」、「Microsoft Outlook」のいずれかを初めて起動したときは、［ユーザー名の指定］画面と［Office XP 使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。

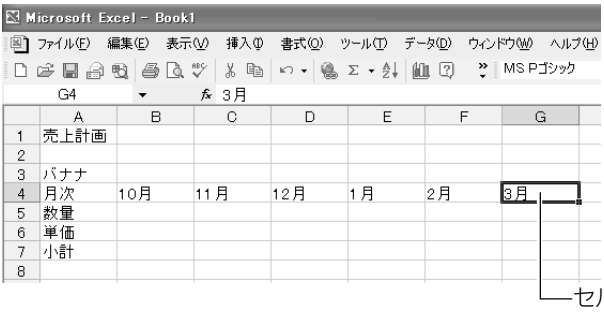
## 表を作る

次の例をもとに、Excel を使った表の作成方法を説明します。



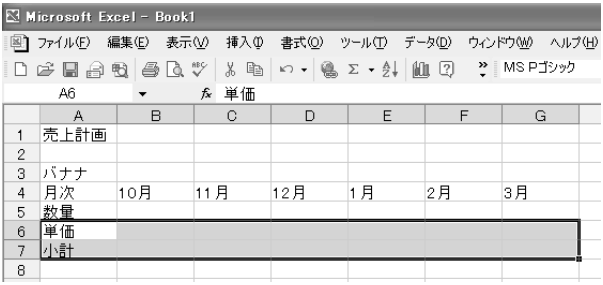
*1* セルに表タイトルと見出しを入力する

セルから隣のセルへの移動は、Tabキーを使うと簡単です。




| | A | B | C | D | E | F | G |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 売上計画 | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | バナナ | | | | | | |
| 4 | 月次 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 5 | 数量 | | | | | | |
| 6 | 単価 | | | | | | |
| 7 | 小計 | | | | | | |
| 8 | | | | | | | |

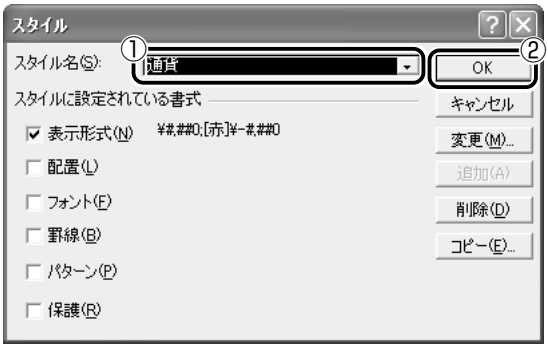
*2* 「単価」と「小計」のセルを選択する




| | A | B | C | D | E | F | G |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 売上計画 | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | バナナ | | | | | | |
| 4 | 月次 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 5 | 数量 | | | | | | |
| 6 | 単価 | | | | | | |
| 7 | 小計 | | | | | | |
| 8 | | | | | | | |

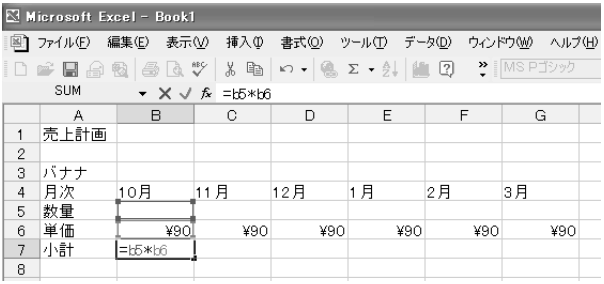
*3* メニューバーから［書式］→［スタイル］をクリックする

*4* ［スタイル名］で［通貨］を選択し①、［OK］ボタンをクリックする②



## 5 「単価」の数値を入力する

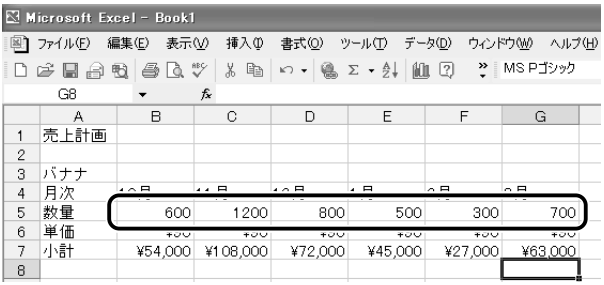
## 6 「小計」の数式を入力する



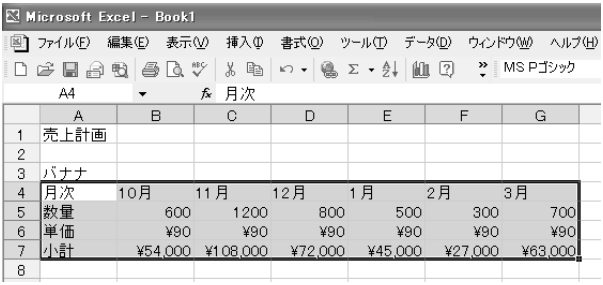

Enterキーを押すと、数量が入力されていないので、「¥0」と表示されます。

## 7 「数量」を入力する

小計が計算され、表示されます。



## 8 表にするセルを選択する

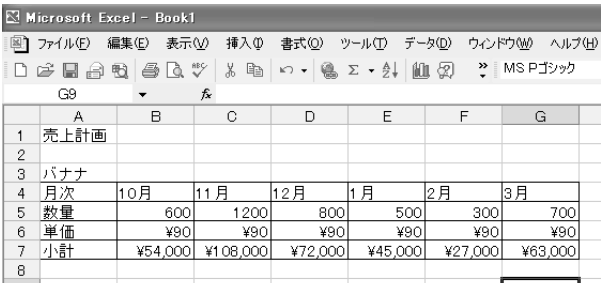



| | A | B | C | D | E | F | G |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 売上計画 | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | バナナ | | | | | | |
| 4 | 月次 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 5 | 数量 | 600 | 1200 | 800 | 500 | 300 | 700 |
| 6 | 単価 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 |
| 7 | 小計 | ¥54,000 | ¥108,000 | ¥72,000 | ¥45,000 | ¥27,000 | ¥63,000 |
| 8 | | | | | | | |

## 9 メニューバーから［書式］→［セル］をクリックする

## 10 ［罫線］タブで罫線を設定する

↓




| | A | B | C | D | E | F | G |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 売上計画 | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | バナナ | | | | | | |
| 4 | 月次 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 5 | 数量 | 600 | 1200 | 800 | 500 | 300 | 700 |
| 6 | 単価 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 |
| 7 | 小計 | ¥54,000 | ¥108,000 | ¥72,000 | ¥45,000 | ¥27,000 | ¥63,000 |
| 8 | | | | | | | |

*11* メニューバーから［ファイル］→［名前を付けて保存］をクリックする

*12* ファイル名を入力し①、［保存］ボタンをクリックする②

作成したファイルが保存されました。

## グラフを作成する

Excel で作成した表をもとに、グラフを作成する方法を説明します。

*1* 表のグラフ化する範囲を選択する

「月次」とバナナ、キウイ、リンゴの「小計」を選択します。

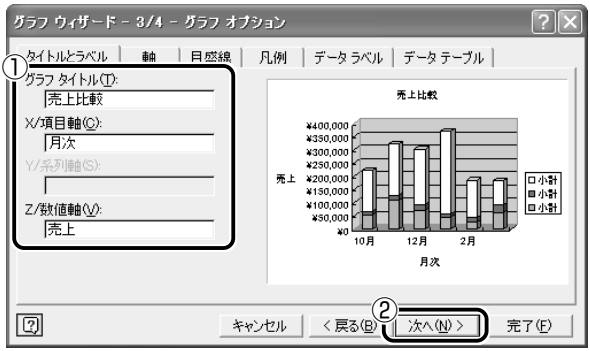
| | A | B | C | D | E | F | G |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 売上計画 | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | バナナ | | | | | | |
| 4 | 月次 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 5 | 数量 | 600 | 1200 | 800 | 500 | 300 | 700 |
| 6 | 単価 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 | ¥90 |
| 7 | 小計 | ¥54,000 | ¥108,000 | ¥72,000 | ¥45,000 | ¥27,000 | ¥63,000 |
| 8 | | | | | | | |
| 9 | キウイ | | | | | | |
| 10 | 月次 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 11 | 数量 | 130 | 200 | 220 | 120 | 150 | 280 |
| 12 | 単価 | ¥100 | ¥100 | ¥100 | ¥100 | ¥100 | ¥100 |
| 13 | 小計 | ¥13,000 | ¥20,000 | ¥22,000 | ¥12,000 | ¥15,000 | ¥28,000 |
| 14 | | | | | | | |
| 15 | リンゴ | | | | | | |
| 16 | 月次 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 17 | 数量 | 1200 | 1500 | 1600 | 2400 | 1100 | 700 |
| 18 | 単価 | ¥130 | ¥130 | ¥130 | ¥130 | ¥130 | ¥130 |
| 19 | 小計 | ¥156,000 | ¥195,000 | ¥208,000 | ¥312,000 | ¥143,000 | ¥91,000 |
| 20 | | | | | | | |

*2* メニューバーから［挿入］→［グラフ］をクリックする
グラフウィザードが起動します。

*3* グラフの種類①と形式②を選択し、［次へ］ボタンをクリックする③

*4* 設定を確認し、［次へ］ボタンをクリックする

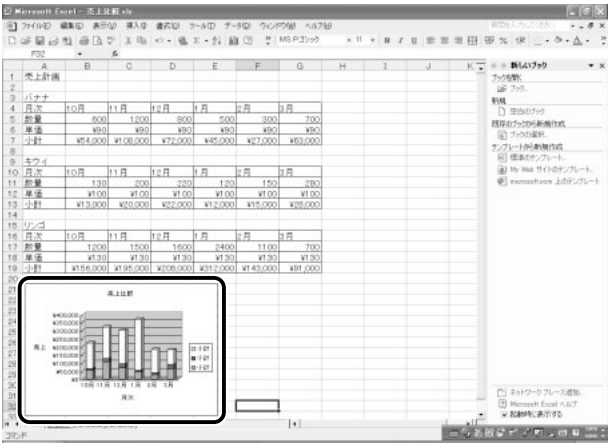
*5* グラフのタイトルと項目軸、数値軸を入力し①、［次へ］ボタンをクリックする②




*6* ［オブジェクト］を選択し①、［完了］ボタンをクリックする②

グラフが作成され、現在のシートにオブジェクトとして貼り付けられます。

*7* ドラッグアンドドロップでグラフの位置を修正する



## ヘルプの起動方法

*1* 「Microsoft Excel」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［Microsoft Excel ヘルプ］をクリックする

参照 「Microsoft Excel」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（2）マイクロソフト株式会社 お問い合わせ各種窓口」

# 10 PDF ファイルを見る

アプリケーションのマニュアルなど、本製品にあらかじめプレインストールされている電子マニュアルの形式に「PDF ファイル（.pdf） 」があります。
PDF ファイルはアプリケーション「Acrobat（アクロバット） Reader（リーダー）」を起動して、見ることができます。

## 起動方法

### *1* PDF ファイルで用意されている各アプリケーションなどのマニュアルを、［スタート］メニューから起動する

メモ

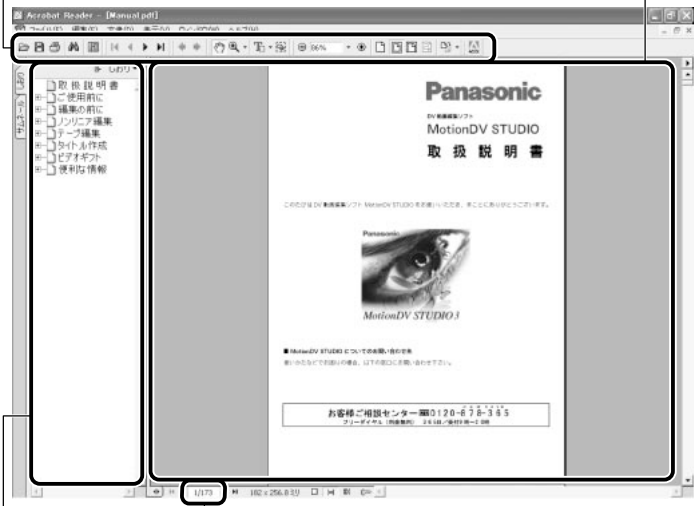
- はじめて「Acrobat Reader」を起動したときは、［ソフトウェア使用許諾契約書］画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。

### *2* ［Acrobat Reader］画面で操作する

ここでは、例として「MotionDV STUDIO」の「取扱説明書」を起動しています。

**ツールバー**
各ボタンの役割は次ページをご覧ください。

内容を表示します。
ポインタが手の形（ ）になるところで
クリックすると、そのページにジャンプします。




ファイルまたは章のページ番号
／ページ数を表示します。

しおりの項目をクリックすると、そのページにジャンプします。
PDFファイルによっては、しおりは設定されていません。

## ■ ツールバーのボタンの役割

..... ファイルを開く

..... 現在開いている PDF ファイルのコピーを保存する

..... ページを印刷する

..... クリックして表示される［検索］画面に、言葉を入力して検索する

..... しおりやサムネールのナビゲーションパレットウィンドウの表示／非表示を切り替える

..... 最初のページに戻る

..... 前のページに戻る

..... 次のページに進む

..... 最後のページに進む

 ..... 直前に表示したページに戻る

 .....  ボタンで前のページに戻っているときに、再び次のページに進む

..... ページをつかんでドラッグする

.. ページのズームイン／ズームアウトをする

.. ページ内の文章をコピーして他の文書に貼りつける

 ..... ページ内の画像をコピーして他のツールに貼りつける

..... ズームアウトする

.. 現在の表示倍率が表示される。▼ をクリックして表示倍率を選択することもできる。

..... ズームインする

 ..... ページを実際の大きさで表示する

 ..... ページ全体を表示する

..... ページの幅を画面にあわせて表示する

 ..... 折り返す

 .. 右／左に回転して表示する

.... アドビ システムズ社の Web サイトを開く

詳しくは、「Acrobat Reader」のヘルプ（PDF ファイル）をご覧ください。

## PDF マニュアルの起動方法

*1* 「Acrobat Reader」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［Reader のヘルプ］をクリックする

PDF マニュアルが起動します。

参照 「Acrobat Reader」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（1）東芝（東芝 PC ダイヤル）」

# 4章
# 声で入力する／パソコンがしゃべる


1 LaLaVoiceとは ..... 154

2 声で文章を入力する／文章を読み上げる .... 156

3 声でパソコンを操作する ..... 160

4 ホームページを読み上げる ..... 164

5 アシスタント機能を使う ..... 166

6 Word／Excel／Outlookで
読み上げ機能を使う ..... 179

7 読み上げキャラクタを編集する ..... 186

# 1 LaLaVoiceとは

アプリケーション「LaLaVoice（ララボイス）」を使って、パソコンの文章を音声で読み上げたり、パソコンを音声で操作することができます。
「LaLaVoice」は、漢字かな混じりの日本語文書を解析し、ユーザに聞き取りやすい声で文章を読み上げる音声合成ソフトウェアと、マイクから入力した音声をテキストに変換したり、音声で操作などが行える音声認識ソフトウェアからなります。音声認識ソフトウェアを使用するためには、ヘッドセットマイクロフォン（別売）が必要です。

## メインメニューを起動する

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［LaLaVoice］→［LaLaVoice メニュー］をクリックする
メインメニューが表示されます。

**LaLaVoice テキスト**
声で文字を入力したり、入力した文字を読み上げたりします。

**LaLaVoice LaLaSong**
曲を作ったり、作った曲を歌ったりします。

**LaLaVoice アシスタント**
メモを貼り付けたり、スケジュールを管理できます。

**とじる**
LaLaVoiceメニューを終了します。

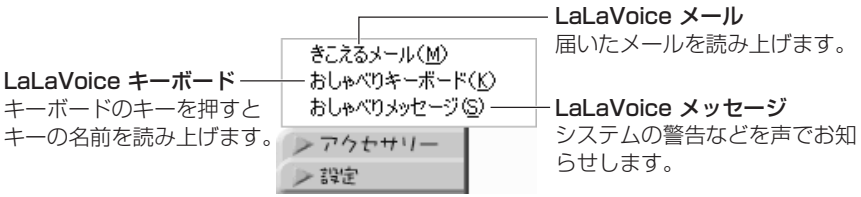
**LaLaVoice コマンド**
操作を声で指示できます。

**LaLaVoice Web**
ホームページの文字を読み上げます。

**LaLaVoice ヘルプ**
LaLaVoiceのヘルプが起動します。
各アプリケーションの詳細や操作方法について説明しています。

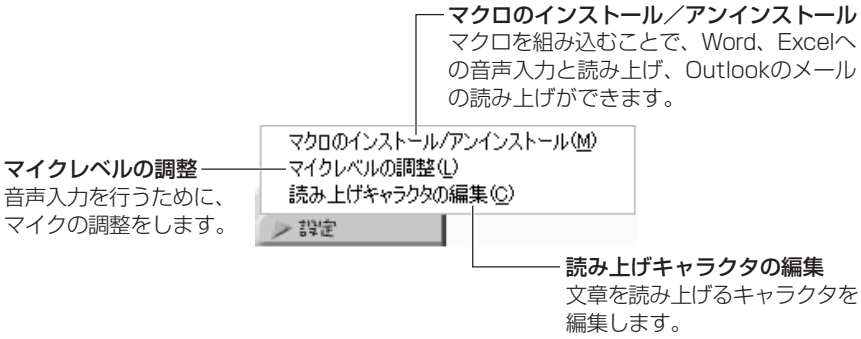
### ■ アクセサリー

［アクセサリー］をクリックするとメニューが表示されます。




### ■ 設定

［設定］をクリックするとメニューが表示されます。




## ヘルプの起動方法

*1* メインメニューから［LaLaVoice ヘルプ］をクリックする

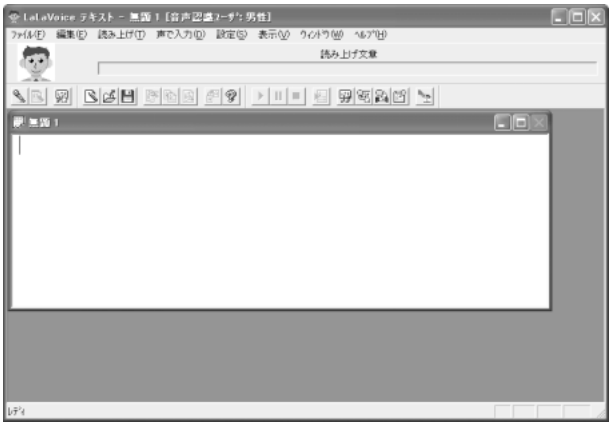
参照 「LaLaVoice」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（1）東芝（東芝 PC ダイヤル）」

# 2 声で文章を入力する／文章を読み上げる

「LaLaVoice テキスト」を使って、入力した文章を読み上げたり、マイクを使って声で文章を入力することができます。

## 起動方法

*1* メインメニューから［声で入力＆読上げ］をクリックする
次の画面が表示されます。




## 入力した文章を読み上げる

キーボードやマイクを使って入力した文章を読み上げます。

*1* 読み上げて欲しい文章をキーボードやマイクを使って入力する

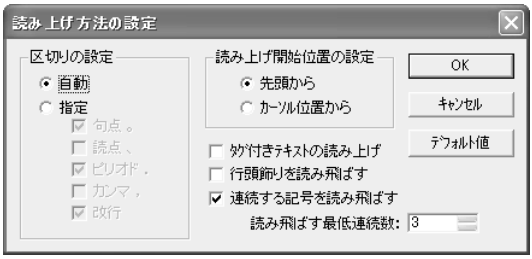
*2* ［読み上げ開始］ボタン（ ▶ ）をクリックする
画面に表示されている文章を読み上げます。

### ■ 読み上げ方法を設定する

文章を読み上げるときの区切りや読み上げを始める場所などを設定できます。

1 [読み上げ方法の設定] ボタン（ ）をクリックする
[読み上げ方法の設定] 画面が表示されます。

2 各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックする




## 言葉で文章を入力する

マイクに向かって発した言葉を、文章に変換できます。

1 [入力開始] ボタン（ ）をクリックする
音声入力が始まります。
ステータスバーに「音声入力受付中です」と表示されます。

2 マイクに向かって話す

3 入力が終わったら、[入力終了] ボタン（ ）をクリックする

### ■ 文章を修正する

言葉で入力した文章を修正できます。

1 修正したい文字の前にカーソルを置いて、ダブルクリックする
1度に入力した言葉が反転表示され、認識文字の一覧が表示されます。

### *2* ボタンを使って候補を修正する

▶ ボタン：入力した音声を再生します。

ボタン：全候補を一覧として表示するか、異なる読みごとに表示するかを切り替えます。

ボタン：対象となっている単語を、選択した候補または編集した単語に置き換えます。

ボタン：対象となっている単語を削除します。

言葉で入力した文章は、キーボードから文字を入力したり、削除したりして修正することもできます。

## 入力した文章を保存する

### *1* メニューバーから［ファイル］→［名前をつけて保存］をクリックする

ファイルは「.txs」という拡張子で保存されます。この文書はWindowsの「メモ帳」や「ワードパッド」で開くことができます。

## 入力した文章を転送する

LaLaVoice テキストで入力した文章を Word やメモ帳などに転送することができます。

### ■ 転送先を指定する

文章を転送するときは、まず転送先を指定します。

1 転送したいアプリケーションを起動する

2 メニューバーから［編集］→［転送先ウィンドウの指定］をクリックする
起動しているアプリケーション名が表示されます。

3 転送したいアプリケーション名をクリックする
転送したいアプリケーション名の前にチェックマークがついて、転送先として選択されます。

### ■ 転送する

1 メニューバーから［編集］→［転送］をクリックする
転送先に入力した文章が転送されます。

### ■ 転送先を指定してすぐに転送するようにする

転送先を指定するとすぐに文章を転送するように設定できます。

1 メニューバーから［編集］→［転送先ウィンドウの指定］をクリックする

2 ［指定後、直ちに転送］をクリックする
［指定後、直ちに転送］にチェックマークがついて、転送先を指定するとすぐに文章が転送されるようになります。

# 3 声でパソコンを操作する

「LaLaVoice コマンド」を使って、今までマウスやタッチパッドで行なっていた操作の多くを声で行うことができます。
LaLaVoice コマンドには、よく使う操作を自分で登録できます。

## 起動方法

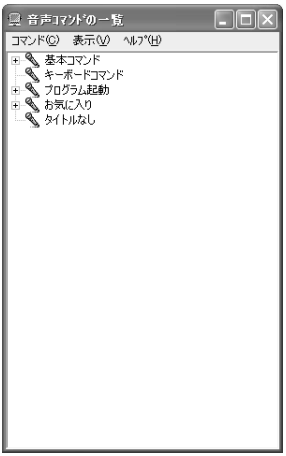
*1* メインメニューから［声でパソコン操作］をクリックする
タスクバーに［LaLaVoice コマンド］アイコン（ ）が表示されます。

## 音声コマンドの一覧を表示する

登録されている音声コマンドの一覧表を表示できます。

*1* タスクバーの［LaLaVoice コマンド］アイコン（ ）を右クリックする
LaLaVoice コマンドのメニューが表示されます。

*2* ［音声コマンドの一覧］をクリックする
［音声コマンドの一覧］画面が表示されます。



## ■ 音声コマンドを変更する

登録されている音声コマンドを変更することができます。変更できる項目は次の３つです。

・読み
・音声コマンドを実行するときの確認画面表示
・選択した音声コマンドの一時停止

お願い

●「削除」や「フォーマット」など、データが変更されるようなコマンドは、音声コマンドを実行する前に確認する機能を有効にしておくと安全です。また、周囲の雑音を認識してしまう場合には、指定のキーを押したり、マウス位置により音声入力を限定する機能を設定することをおすすめします。

*1* タスクバーの［LaLaVoice コマンド］アイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice コマンドのメニューが表示されます。

*2* ［音声コマンドの一覧］をクリックする

［音声コマンドの一覧］画面が表示されます。

*3* 音声コマンドの一覧で変更したいコマンドをクリックする

*4* メニューバーから［コマンド］→［変更］をクリックする

［コマンドの変更］画面が表示されます。

*5* 項目を変更し、［OK］ボタンをクリックする

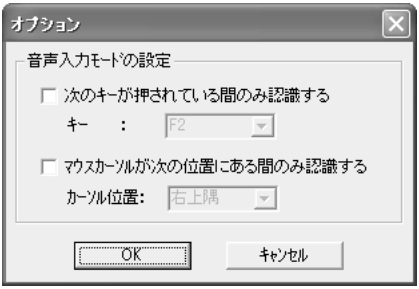
## ■ 音声入力モードを変更する

*1* タスクバーの［LaLaVoice コマンド］アイコン（ ）を右クリックする
LaLaVoice コマンドのメニューが表示されます。

*2* ［音声コマンドの一覧］をクリックする
［音声コマンドの一覧］画面が表示されます。

*3* メニューバーから［コマンド］→［オプション］をクリックする
［オプション］画面が表示されます。

*4* 音声入力モードを設定する




次のキーが押されている間のみ認識する：
チェックすると、特定のキーを押しているときだけ、音声コマンドを使うように設定できます。キーは をクリックして選びます。

カーソルが次の位置にある間のみ認識する：
チェックすると、カーソルが特定の位置にある間だけ、音声コマンドを使うように設定できます。カーソルの位置は をクリックして選びます。

*5* ［OK］ボタンをクリックする

## インジケータの表示

LaLaVoice コマンドを使っているときに、うまく音声が入力できているかわかるようにインジケータを表示できます。

*1* タスクバーの［LaLaVoice コマンド］アイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice コマンドのメニューが表示されます。

*2* ［インジケータの表示］をクリックする

インジケータが表示されます。

をクリックすると、インジケータが閉じます。

# 4 ホームページを読み上げる

「LaLaVoice Web」を使って、ホームページに書いてある文章を読み上げます。

## ホームページを読み上げる

*1* メインメニューから［Web の読上げ］をクリックする
Web の読み上げに使うボタンが表示されます。

*2* ［読み上げ］ボタン（ ▶ ）をクリックする
ホームページに書いてある文章を読み上げます。
各ボタンの機能は次のとおりです。

| ボタン | 名 称 | 機能内容 |
|---|---|---|
| ▶▶ | 早送りボタン | 読み上げを行なっているときにクリックすると早送りになります。 |
| ▶ | 読み上げボタン | 読み上げを開始します。 |
| ⏸ | 一時停止ボタン | 読み上げを一時停止します。 |
| ■ | 停止ボタン | 読み上げを停止します。 |
| メニュー(M) | メニューボタン | 読み上げの設定を変えたり、読み上げを終了します。 |

## ホームページの読み上げを終了する

*1* ［閉じる］ボタン（ ✕ ）をクリックする
「LaLaVoice Web」が終了します。

## ホームページを読み上げる設定をする

ホームページを読み上げるときの設定を変更できます。

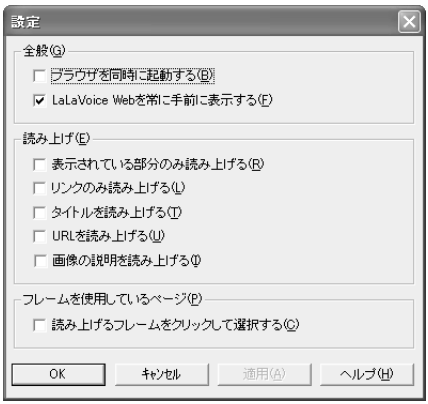
*1* ［メニュー］ボタン（ メニュー(M) ）をクリックする

LaLaVoice Web のメニューが表示されます。

*2* ［設定］をクリックする

［設定］画面が表示されます。

*3* ホームページを読み上げる設定を変更する




| 設定項目 | 項目内容 |
|---|---|
| 全般 | LaLaVoice Webと一緒にInternet Explorerを起動するときやLaLaVoice Webのウィンドウを常に手前に表示するときにチェックします。 |
| 読み上げ | ホームページのどの部分を読み上げるのか指定します。 |
| フレームを使用しているページ | ホームページがフレームを使って作成されていた場合、すべてのフレームを読み上げるのか、クリックで指定したフレームだけを読み上げるのか選択します。 |

*4* ［OK］ボタンをクリックする

［設定］画面が閉じます。

# 5 アシスタント機能を使う

「LaLaVoice アシスタント」で、パソコンの画面にメモを貼りつけたり、スケジュールを管理することができます。また、スケジュールやメモの期限を声でお知らせしたり、音声で入力することもできます。

## 起動方法

*1* メインメニューから［アシスタント］をクリックする

画面にうさぎのキャラクタ「すぅぱぁみみ」が表示されます。また、タスクバーに［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）が表示されます。

## メモを貼りつける

パソコンの画面にメモを貼りつけることができます。また、メモに期限を設定することで、LaLaVoice アシスタントが声で読み上げてくれます。

### ■ メモを入力する

*1* タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

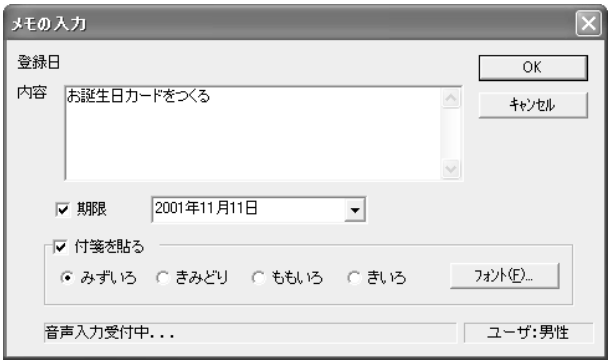
### 2 ［編集］をクリックする

［編集］画面が表示されます。

### 3 ［追加］ボタンをクリックする

［メモの入力］画面が表示されます。

### 4 各項目を入力する




**内容**　：画面に表示したい内容を入力します。

**期限**　：チェックボックスをチェックして、メモの期限を設定できます。
期限を設定したメモは、LaLaVoice アシスタントを起動したときに内容が読み上げられます。

**付箋(ふせん)を貼る**：メモを画面に表示できます。画面に表示する付箋の色や書体を選べます。

メモ ● メモの内容は、適当な位置で改行すると見やすくなります。

*5* ［OK］ボタンをクリックする
入力した内容が表示されます。

登録日、内容、期限が表示されます。登録日の前に「＊」がついているメモは、パソコンの画面に表示されているメモです。

## ■ メモを変更する

*1* タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする
LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

*2* ［編集］をクリックする
［編集］画面が表示されます。

*3* 修正したいメモをクリックし、［変更］ボタンをクリックする
［メモの入力］画面が表示されます。

*4* 項目を変更し、［OK］ボタンをクリックする

### ■ メモを削除する

1 タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする
LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする
［編集］画面が表示されます。

3 削除したいメモをクリックし、［削除］ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。

4 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする
選択したメモが削除されます。

## スケジュールを登録する

スケジュールを管理できます。スケジュールが登録されている日になると、LaLaVoice アシスタントが、声でお知らせしてくれます。

1 タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする
LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする
［編集］画面が表示されます。

3 ［予定］タブで［追加］ボタンをクリックする

［予定の入力］画面が表示されます。

## 4 予定を入力する

**件名**　：予定の件名を入力します。

**場所**　：場所を入力します。

**開始日時・終了日時：**

日にちは、▼ をクリックして表示されるカレンダーで予定日をクリックします。

◀ ▶ をクリックすると前月、次の月を表示できます。

時刻は、▲▼ をクリックして指定します。キーボードからも入力して指定することもできます。

**通知**　：予定時間より前に通知をするか選択します。▼ をクリックして選択できる時間は、なし、0分、5分、15分、30分、1時間、2時間、1日の8種類です。

**内容**　：予定の内容を入力します。

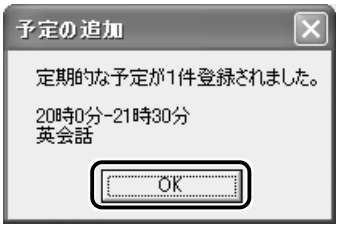
定期的に行う：

チェックして表示される［定期パターンの設定］画面で設定します。ある一定の期間で間隔を選んでスケジュールを１度に設定することができます。設定が終わったら、［OK］ボタンをクリックします。

### *5* ［OK］ボタンをクリックする

確認メッセージが表示されます。

### *6* メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする



### ■ スケジュールを変更する

1 タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする
LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする
［編集］画面が表示されます。

3 ［予定］タブで修正したいスケジュールをクリックし、［変更］ボタンをクリックする
［予定の入力］画面が表示されます。

4 項目を変更し、［OK］ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。

5 メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする

### ■ スケジュールを削除する

1 タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする
LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする
［編集］画面が表示されます。

3 ［予定］タブで削除したいスケジュールをクリックし、［削除］ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。

4 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする
選択したスケジュールが削除されます。
特定の日にち以降のスケジュールを削除する場合は、「予定の整理」で行います。

## ■ 予定の整理

予定の整理を使用すると、スケジュールをまとめて削除したり、ファイルに保存できます。

*1* タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

*2* ［編集］をクリックする

［編集］画面が表示されます。

*3* ［予定］タブで［予定の整理］ボタンをクリックする

［予定の整理］画面が表示されます。

*4* 処理の種類を選択する

削除　　：期間を指定して、スケジュールをまとめて削除できます。

ファイルに保存：期間を指定して、Outlook で読み込み可能なファイルの形式に保存できます。

インポート　：Outlook でエクスポートしたファイル（.csv ファイル）を読み込むことができます。

*5* ［次へ］ボタンをクリックする

表示される画面に従って必要な設定を行います。

*6* ［完了］ボタンをクリックする

## 読み上げの設定をする

LaLaVoice アシスタントを起動したとき、メモやスケジュールを読み上げる設定を行います。

*1* タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

*2* ［設定］をクリックする

［設定］画面が表示されます。

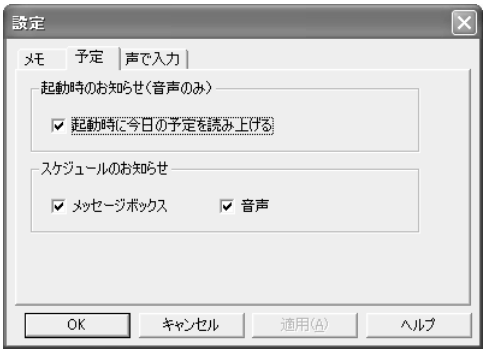
*3* 各タブで、読み上げの設定をする

【メモ】

起動時のお知らせ ：LaLaVoice アシスタントを起動したときに、期限を設定したメモを読み上げます。

語尾の設定 ：LaLaVoice アシスタントがメモを読み上げるときに最後につける言葉を入力します。

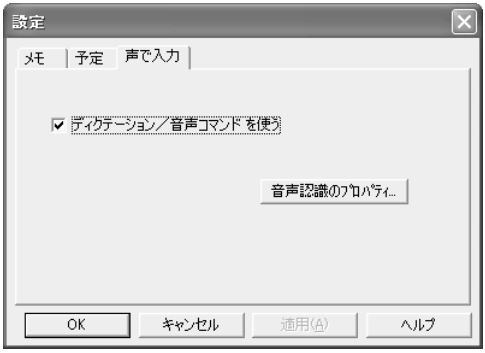
【予定】




起動時のお知らせ　　：LaLaVoice アシスタントを起動したときに、その日の予定を読み上げます。

スケジュールのお知らせ：メッセージボックス、音声を選べます。

【声で入力】




ディクテーション／音声コマンドを使う：
　ディクテーション機能（音声入力機能）を使用できます。

音声認識のプロパティ：
　［音声認識のプロパティ］画面が表示され、認識精度、しゃべる速さ、話者などを設定できます。

*4* ［OK］ボタンをクリックする

## キャラクタのオプションを変更する

*1* タスクバーの［LaLaVoice アシスタント］アイコン（ ）を右クリックする

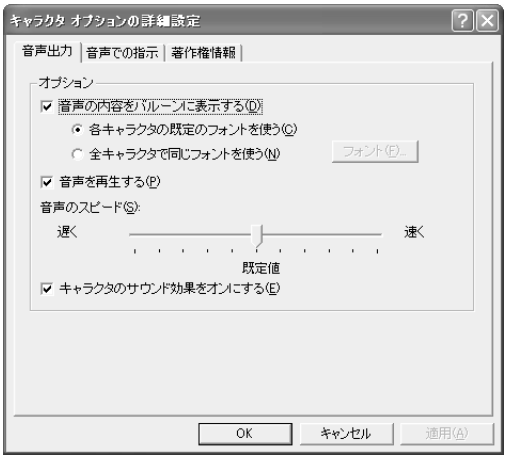
LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

*2* ［MS Agent のプロパティ］をクリックする

［キャラクタオプションの詳細設定］画面が表示されます。

*3* 各タブで、キャラクタのオプションを変更する

【音声出力】




音声の内容をバルーンに表示する：

音声内容を表示します。また、キャラクタのフォントを選択できます。

音声を再生する：

音声を再生します。音声のスピードも選択できます。

キャラクタのサウンド効果をオンにする：

キャラクタが行動するときの音声を再生します。

【音声での指示】

音声で指示する：
　チェックすると、行いたい操作を音声で指示するか選択できます。また、特定のキーを押しながら音声を受け付けるか、特定の時間内に音声を受け付けるかを指定できます。

リスニングヒントを表示する：
　音声入力のできる状態であることを表示できます。

指示の受け付け時に発信音を鳴らす：
　音声の指示を受け付けるときに発信音を鳴らします。

【著作権情報】

著作権情報が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックする

# 6 Word／Excel／Outlookで読み上げ機能を使う

Wordの文書、Excelのセルの内容、Outlookのメールを読み上げるマクロと、マイクから入力した音声を文字に変換してWord／Excelに表示するマクロを組み込むことができます。



## マクロをインストールする

1 メインメニューから［設定］→「マクロのインストール/アンインストール」をクリックする
［マクロのインストール/アンインストール］画面が表示されます。

2 インストールしたいマクロの左のチェックボックスをチェックする

3 ［実行］ボタンをクリックする
マクロがインストールされます。

インストール後マクロが有効にならない場合、それぞれ次の手順で有効にしてください。

### ■ Microsoft Wordの場合

1 ［ツール］→［テンプレートとアドイン］をクリックする

2 ［TosDicWd.doc］と［TosWord.dot］をチェックし、［OK］ボタンをクリックする
マクロが有効になり、メニューバーに［読み上げ］と［声で入力］が表示されます。

### ■ Microsoft Excel の場合

1 ［ツール］→［アドイン］をクリックする

2 ［LaLaVoice2001 声で入力］と［LaLaVoice2001 読み上げ］をチェックし、［OK］ボタンをクリックする
マクロが有効になり、メニューバーに［読み上げ］と［声で入力］が表示されます。

### ■ Microsoft Outlook の場合

1 ［ツール］→［オプション］をクリックする

2 ［その他］タブの［詳細オプション］ボタンをクリックする

3 ［アドインマネージャ］ボタンをクリックする

4 ［LaLaVoice2001 読み上げ］をチェックし、［OK］ボタンをクリックする
［LaLaVoice2001 読み上げ］の項目が表示されていない場合は、再起動後、手順 1 から実行してください。
マクロが有効になると、［ツール］メニューに［未読メールの読み上げ］、［選択メールの読み上げ］、［読み上げ停止］、［読み上げの設定］が表示されます。

## 音声で入力する

*1* 各アプリケーションを起動する

*2* メニューバーから［声で入力］→［音声入力開始］をクリックする

［声で入力］ツールバーの をクリックしても同様です。
マイクから入力した音声をテキストに変換して表示します。

*3* マイクに向かって話す

*4* メニューバーから［声で入力］→［音声入力終了］をクリックする

［声で入力］ツールバーの ■ をクリックしても同様です。

*5* 間違って認識された単語が入力されているセルを選択して［テキスト修正］（ ）をクリックする

［修正－全候補］画面が表示されます。

*6* 各ボタンで候補を修正する

対象となっている単語を削除します。

対象となっている単語を、選択した候補、または編集した単語に置き換えます。

全候補を一覧として表示するか、異なる読みごとに表示するかを切り替えます。

メモ ● Excel でテキストの修正をするときは、「入力の設定」で［1 つのセルに 1 語入力して自動的に移動］に設定しているときのみ行えます。

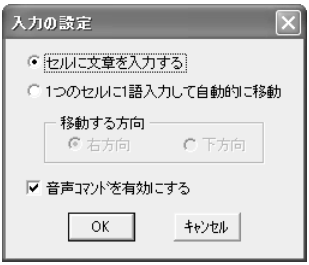
## ■ 入力の設定

Excel で声で入力するときは、入力の設定をすることができます。

### *1* メニューバーから［声で入力］→［入力の設定］をクリックする

［声で入力］ツールバーの をクリックしても同様です。
［入力の設定］画面が表示されます。

### *2* 必要な設定を行う




**【セルに文章を入力する】**

音声によって１つのセルに複数の文字列を入力できます。
この設定では、テキストの修正はできません。

**【1 つのセルに 1 語入力して自動的に移動】**

音声によって１つのセルに 1 語入力すると、次のセルに自動的に移動します。
移動する方向は、「右方向」「下方向」から選択してください。
この設定では、テキストの修正ができます。

**【音声コマンドを有効にする】**

あらかじめ登録されている音声コマンドを認識し、選択しているセルを移動します。
音声コマンドには、次の４つが登録されています。

| コマンド（読み） | 動 作 |
|---|---|
| 右へ移動（みぎえいどう） | 選択しているセルが1つ右へ移動する |
| 下へ移動（したえいどう） | 選択しているセルが1つ下へ移動する |
| 次の行（つぎのぎょう） | 選択しているセルが次の行の先頭に移動する |
| 次の列（つぎのれつ） | 選択しているセルが次の列の先頭に移動する |

## Word／Excelの文章を読み上げる

**1** メニューバーから［読み上げ］→［選択範囲の読み上げ］または［読み上げ開始］をクリックする

［読み上げ］ツールバーの ▶ をクリックしても同様です。
選択されている範囲のセルの内容を読み上げます。
読み上げるセルの範囲を選択したのち、［選択範囲の読み上げ］を選択すると、指定した範囲を読み上げます。

**2** メニューバーから［読み上げ］→［読み上げ停止］をクリックする

［読み上げ］ツールバーの ■ をクリックしても同様です。

### ■ 入力の設定

Excelで文章を読み上げるときは、入力の設定をすることができます。

**1** メニューバーから［読み上げ］→［表読みの設定］をクリックする

［読み上げ］ツールバーの をクリックしても同様です。
［表読みの設定］画面が表示されます。

**2** 必要な設定を行う

【数字】
セルの内容が数字の場合に、読み上げます。

【文字列】
セルの内容が文字列の場合に、読み上げます。

【空セル】
セルの内容が空の場合に、「無し」と読み上げます。
ただし［空セル］の読み上げは、［選択範囲の読み上げ］の場合のみ有効です。

【常に読み上げる】

セルにデータを入力し、Enterキーを押すと、セルの内容を読み上げます。

【読み上げ優先】

［選択範囲の読み上げ］の場合、列、行のどちらを優先して読み上げるかを選択します。

## メールを読み上げる

*1* Outlook を起動する

*2* メニューバーから［ツール］→［未読メールの読み上げ］または［選択メールの読み上げ］をクリックする

読み上げに関するメニューは、「受信トレイ」が表示されているときだけ有効です。

【未読メールの読み上げ】

未読メールを順次読み上げます。
未読メールがない場合は、「未読メールはありません」と音声でお知らせします。

【選択メールの読み上げ】

選択しているメールを選択順に読み上げます。

*3* メニューバーから［ツール］→［読み上げ停止］をクリックする

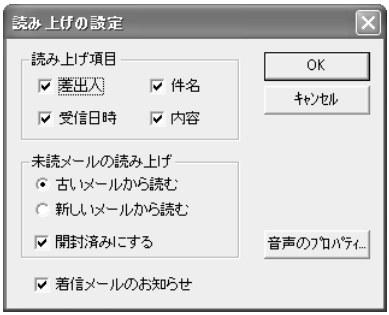
### ■ 読み上げの設定

メールを読み上げるときは、読み上げの設定をすることができます。

*1* メニューバーから［ツール］→［読み上げの設定］をクリックする

［読み上げの設定］画面が表示されます。

## 2 必要な項目をチェックする




**読み上げ項目：**

読み上げる項目（差出人／件名／受信日時／内容）のチェックボックスをチェックします。

**未読メールの読み上げ：**

未読メールを読み上げるときの順番を設定します。
また、読み上げたメールを開封済みにするかを設定します。

**着信メールのお知らせ：**

Outlookの起動時に未読メールがあるときや新着メールが届いたときに音声でお知らせします。

**音声のプロパティ：**

［音声のプロパティ］画面が表示され、テキストの読み上げキャラクタの変更、数字や記号などの読みかたの決定、ユーザ辞書のメンテナンスを行うことができます。

## 3 ［OK］ボタンをクリックする

# 7 読み上げキャラクタを編集する

LaLaVoiceには、あらかじめ９種類のキャラクタが用意されています。キャラクタの声の設定（声質や声の高さ、抑揚など）や名前、年齢を変更できます。

*1* メインメニューから［設定］→［読み上げキャラクタの編集］をクリックする

［読み上げキャラクタの編集］画面が表示されます。

## キャラクタの設定を変更する

### *1* 変更するキャラクタを選択し、設定を変更する

設定を変更できるのは、名前、年齢、声の種類、声質、抑揚、速度、高さ、トーン、音量の９項目です。

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 名前 | ［名前の変更］ボタンをクリックして表示される［名前の変更］画面で、名前と年齢を変更します。<br>お好きな名前を入力し、6種類の年齢層の中から選択します。<br>設定ができたら、［OK］ボタンをクリックします。 |
| 年齢 | |
| 声の種類 | 男声、女声1、女声2から選びます。キャラクタの性別とは無関係に選択できます。 |
| 声質 | 5段階で設定できます。<br>スライダを左に動かすと声は太くなり、右に動かすと細くなります。 |
| 抑揚 | 5段階で設定できます。<br>スライダを左に動かすと抑揚は弱くなり、右に動かすと強くなります。抑揚を0にすると、ロボットのような読みかたになります。 |
| 速度 | 10段階で設定できます。<br>スライダを左に動かすと遅くなり、右に動かすと速くなります。 |
| 高さ | 10段階で設定できます。<br>スライダを左に動かすと低くなり、右に動かすと高くなります。 |
| トーン | 10段階で設定できます。<br>スライダを左に動かすとトーンは低くなり、右に動かすと高くなります。 |
| 音量 | 10段階で設定できます。<br>スライダを左に動かすと小さくなり、右に動かすと大きくなります。 |

### *2* ［OK］ボタンをクリックする

編集した設定が保存され、「読み上げキャラクタの編集」が終了します。設定後は、各アプリケーションの「音声のプロパティ」で変更したキャラクタを使用できます。

# 5章 快適にパソコンを使うために


1 ウイルスチェックをする ..... 190
2 バックアップをとる ..... 195
3 パソコンの情報を見る／状態を診断する .... 199
4 Windows 起動ディスクを作成する ..... 203

# 1 ウイルスチェックをする

コンピュータウイルスに感染してしまうと、パソコンのデータが破壊されたり、使用できなくなることがあります。コンピュータウイルスを検出/除去するアプリケーション「Norton AntiVirus 2002」で、定期的にコンピュータウイルスの検出を行うことをおすすめします。

「Norton AntiVirus 2002」は、本製品にインストールされていません。
デスクトップ上の「Norton AntiVirus のセットアップ」アイコン（ ）をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。
インストールしてすぐに、LiveUpdate で最新のウイルス定義ファイルをダウンロードすることをおすすめします。
インストール終了後、自動的に LiveUpdate を行うこともできます。
インターネットに接続して行いますので、あらかじめインターネットに接続する設定を行なっておいてください。
インストールの途中で［インストールのタスク］画面が表示されたときは［LiveUpdate を実行する］がチェックされているか確認し、［次へ］ボタンをクリックしてください。
インストール終了後、［LiveUpdate］画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。
また、LiveUpdate はインストール後も定期的に行うことをおすすめします。

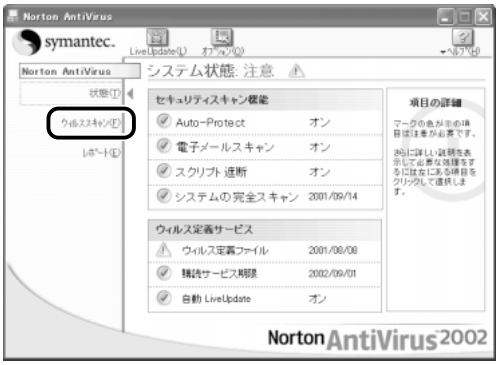
参照 LiveUpdate について ➲「本節 - ウイルス定義ファイルの更新」

## 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Norton AntiVirus］→［Norton AntiVirus 2002］をクリックする

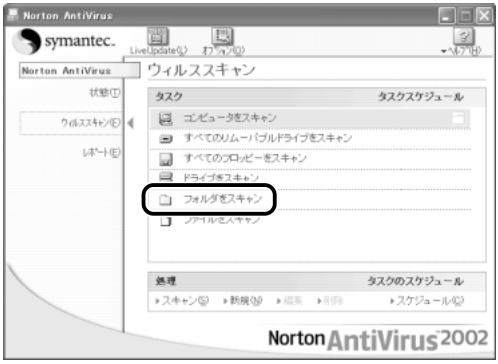
## ウイルスをチェックする

### *1* ［ウイルススキャン］をクリックする



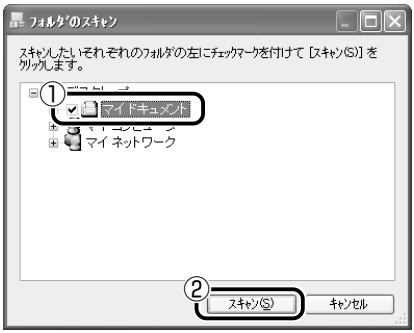

［ウイルススキャン］画面に切り替わります。
この画面でウイルスをチェックします。
ここでは、例として［マイドキュメント］フォルダのチェックをします。

### *2* ［フォルダをスキャン］をダブルクリックする




［フォルダのスキャン］画面が表示されます。

*3* ［マイドキュメント］フォルダを選択し①、［スキャン］ボタンをクリックする②




ウイルスのチェックが始まります。
チェックした後、結果画面が表示されます。

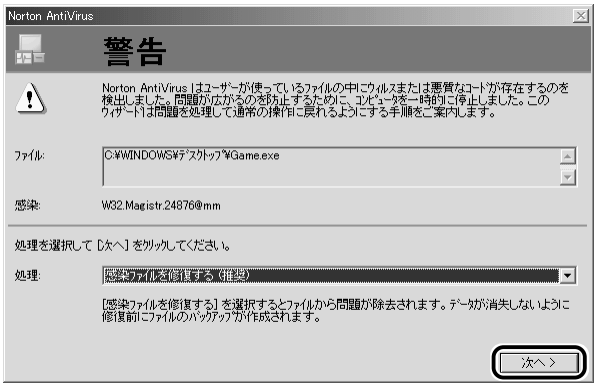
*4* ［完了］ボタンをクリックする

### ■ ウイルスが発見された場合

ウイルスが発見されたら、感染しているファイルを削除するなど修復し、問題を解決してください。
ここでは、感染しているファイルが検出された場合の操作方法を説明します。

ウイルスが発見された場合、［警告］画面が表示されます。

*1* ［次へ］ボタンをクリックする




ウイルスやファイルの種類によって、次に表示される画面が異なります。詳しくは、『Norton AntiVirus 2002』のヘルプをご覧ください。

## ウイルス定義ファイルの更新

コンピュータウイルスは、次々と新しいものが出現します。
LiveUpdate を使ってウイルス定義ファイルを更新する必要があります。
LiveUpdate はインターネットに接続して行います。
あらかじめインターネットに接続しておいてください。

参照 インターネット接続について ➲『まずはこれから』

*1* ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Norton AntiVirus］→［LiveUpdate-Norton AntiVirus］をクリックする

*2* ［次へ］ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

参照 詳細について ➲『Norton AntiVirus 2002 のヘルプ』

本製品に用意されている「Norton AntiVirus 2002」のウイルス定義ファイルの更新期限は、使用開始から 90 日間です。
期限終了後は、シマンテックウイルス定義ファイルの更新手続き（有償）を行うと、さらに 1 年間のサービスを受けることができます。

## ヘルプの起動方法

*1* 「Norton AntiVirus 2002」を起動後、［ヘルプ］ボタン（ ）→［Norton AntiVirus ヘルプ］をクリックする

参照 「Norton AntiVirus 2002」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（10）シマンテックテクニカルサポートセンター」

# 2 バックアップをとる

本製品ではCD-RW、CD-Rにデータをバックアップすることができます。
バックアップするには、「Drag'n Drop CD（ドラッグン　ドロップ シーディー）」を使用します。

## インストール方法

「Drag'n Drop CD」はあらかじめ本製品にはインストールされておりません。
「1章4オリジナル音楽CDを作る」をご覧になり、「Drag'n Drop CD」をインストールしてください。

## CD-RW、CD-Rに書き込む前に

CD-RW、CD-Rに書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。
守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したCD-Rの損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD-RW、CD-Rに保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- CD-Rメディアに書き込む際には、8倍速対応CD-Rメディアをご使用ください。
- CD-RWメディアに書き込む際には、2／4倍速対応（マルチスピード）CD-RWメディアまたはHigh-Speed CD-RW（4～10倍速）対応メディアをご使用ください。
  High-Speed CD-RW対応メディアを使用した場合の書き込み速度は最大8倍速になります。

- 次のメーカのCD-RW、CD-Rをご使用になることをおすすめします。

  CD-RW ：三菱化学（株）、リコー（株）
  CD-R　：太陽誘電（株）、三井化学（株）、三菱化学（株）、
  　　リコー（株）、日立マクセル（株）

  上記以外のメーカのCD-RW、CD-Rをご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。
- SDメモリカード、フロッピーディスクドライブ、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続のハードディスクドライブなど、本製品のハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込む際は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行なってください。
- 必ずACアダプタを接続して電源コンセントに接続してください。バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などにより書き込みに失敗するおそれがあります。
- スクリーンセーバなどCPUに負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。
- LANを経由しての書き込みは行わないでください。LANを経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行なってください。
- 本製品に添付の「Drag'n Drop CD」以外のCD-RW、CD-R書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。

参照 省電力機能について
➲『もっとステップアップ 1章 2 省電力の設定をする』

- 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。

メモ
- CD-Rに書き込みできるのは1回限りです。書き込みに失敗したCD-Rは再利用できませんが、CD-RWはフォーマットすると再利用できます。

## 書き込み／削除を行うときは

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PC カード、USB 対応機器、CRT ディスプレイ、i.LINK 対応機器、光デジタル対応機器、スマートメディア、SD メモリカード
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- オーディオ／アプリケーションボタンを使用して音楽／音声の再生を行わないでください。
- 重要なデータについては、必ず書き込み終了後、データが正しく書き込まれたことを確認してください。
- 「Drag'n Drop CD」で重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行なってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
  ① ［Date BOX］を右クリックし、［オプション］をクリックする
  ［E:（DATA DISC）の設定］画面が表示されます。
  ②［書き込み設定］タブの［書き込み手順］で、［書き込み後ベリファイ］をチェックする
  ③［詳細ベリファイ］をクリックする
  ④［OK］ボタンをクリックする

## 起動方法

インストールすると「Drag'n Drop CD」は自動的に起動され、デスクトップ上にアイコンを表示します。
「Drag'n Drop CD」を終了させた場合は、次の手順で起動してください。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Drag'n Drop CD］→［Drag'n Drop CD］をクリックする
デスクトップ上に、アイコンが表示されます。

## Drag'n Drop CD の基本操作

デスクトップに表示されるアイコンは、次のような役割をもっています。

［Music BOX］
音楽CDを作成するときに使用します。

［DISC Backup BOX］
CDのバックアップを作成するときに使用します。
データCDや音楽CDなど、CDアイコンをこのボックスにドラッグすると、同じものをCD-RW、CD-Rでもう1枚作成できます。

［Data BOX］
データをCD-RW、CD-Rにバックアップするときに使用します。
CD-RW、CD-Rに書き込みたいデータファイルのアイコンをこのボックスにドラッグすると、CD-RW、CD-Rに書き込まれます。

参照 音楽 CD について ➲「1 章 4 オリジナル音楽 CD を作る」

「Drag'n Drop CD」は、パケットライト形式での記録機能は備えていません。

## ヘルプの起動方法

「Drag'n Drop CD」の詳しい情報は、ヘルプを確認してください。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Drag'n Drop CD］→［Drag'n Drop CD のヘルプ］をクリックする
「Drag'n Drop CD」のヘルプが表示されます。

参照 「Drag'n Drop CD」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（15）ESJ カスタマーセンター」

# 3 パソコンの情報を見る／状態を診断する

お使いのパソコンにどのような機能があるか、また調子が悪い場合はどこに問題があるのかを「東芝PC診断ツール」で調べることができます。

## 起動方法

1 [スタート]→[ヘルプとサポート]をクリックする

2 [ヘルプトピックを選びます]の[東芝PC診断ツール]をクリックする

3 左画面の[東芝PC診断ツール]をクリックする
「東芝PC診断ツール」が起動します。

## パソコンを診断する

1 診断する項目をチェックし①、[診断開始]ボタンをクリックする②

チェックした項目を上から順番に診断します。
チェック項目によっては、診断中にメッセージが表示されますので、ご自身で確かめて［はい］または［いいえ］ボタンをクリックしてください。
診断が終了し、問題があった場合には、次のメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。

結果が表示されます。問題があった場合は、目的の［診断項目］の上でダブルクリックしてください。ヘルプファイルが起動し、主な解決方法が表示されます。

### ■ 診断結果を保存する

お問い合わせなどのときのために、診断結果をファイルに保存できます。

*1* ［保存ファイルの指定］の［変更］ボタンをクリックする

*2* ファイルの保存場所①とファイル名②を指定し、［開く］ボタンをクリックする③

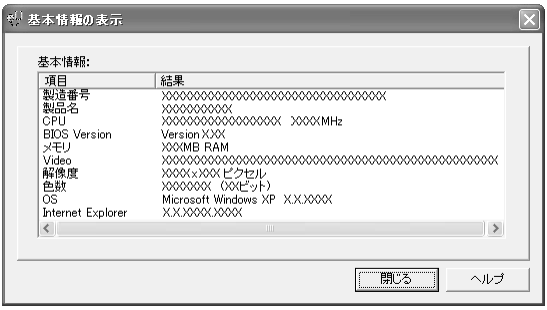
*3* ［診断結果を保存］ボタンをクリックする

メッセージが表示され、設定した場所にファイルが保存されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。

## CPU、OS、ディスプレイなどに関する情報を表示する

*1* ［東芝 PC 診断ツール］画面で、［基本情報の表示］ボタンをクリックする

本製品の基本情報が表示されます。




表示される内容は、東芝 PC 診断ツールを起動時点での設定内容です。設定を変更した場合は、東芝 PC 診断ツールを起動し直すと変更後の設定内容が表示されます。

## ヘルプの起動方法

*1* 「東芝 PC 診断ツール」を起動後、［ヘルプ］ボタンをクリックする

参照 「東芝 PC 診断ツール」のお問い合わせ先
➲「付録 1-（1）東芝（東芝 PC ダイヤル）」

# 4 Windows 起動ディスクを作成する

Windows 起動ディスクとは、パソコンがハードディスクから正常に起動しなくなったときに、使用するフロッピーディスクです。このディスクを使用すると、何らかの原因でパソコンが起動しなくなった場合でもフロッピーディスク（Windows 起動ディスク）からパソコンを起動し、問題を調べることができます。
Windows 起動ディスクを作成するには、フロッピーディスクドライブとフロッピーディスク（2HD タイプ）が 1 枚必要です。
フロッピーディスクの内容はすべて消去されますので、必要なデータを保存していないか、よくご確認ください。

## 作成方法

*1* 同梱のフロッピーディスクドライブを USB コネクタに接続する

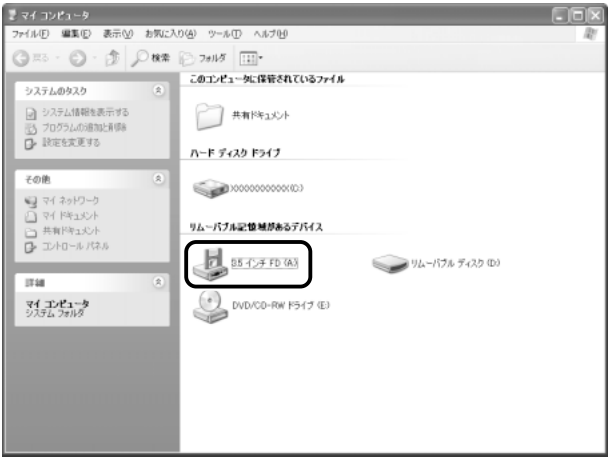
参照 フロッピーディスクドライブの接続
➲『もっとステップアップ 3 章 2 フロッピーディスクドライブを接続する』

*2* フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクをセットする

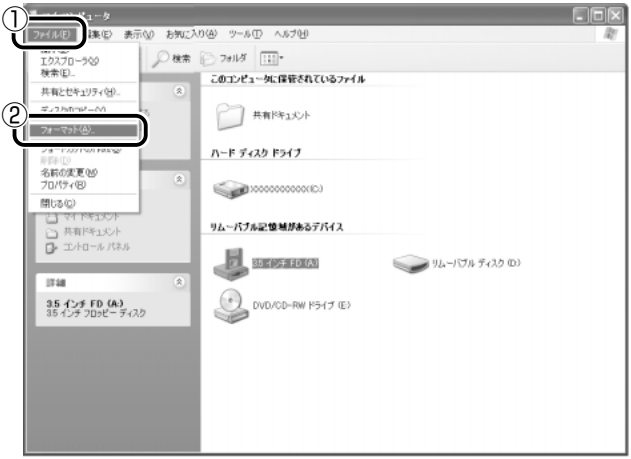
フロッピーディスクのラベルに「Windows XP 起動ディスク」と書いておいてください。

*3* ［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする

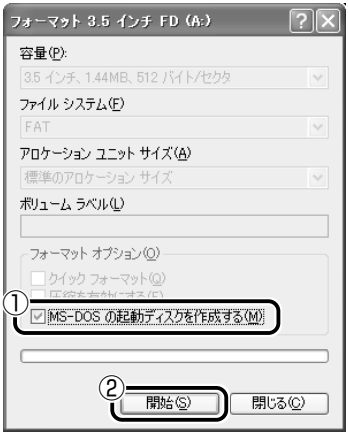
*4* ［3.5 インチ FD（A:)］アイコン（ ）をクリックする




*5* メニューバーから［ファイル］①→［フォーマット］②をクリックする

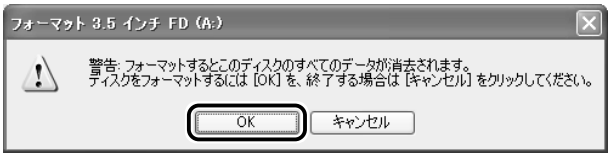


*6* [MS-DOS の起動ディスクを作成する] をチェックし（☑）①、[開始] ボタンをクリックする②




メッセージが表示されます。

*7* メッセージの内容を確認し、[OK] ボタンをクリックする




起動ディスクの作成が始まります。ディスクの作成中は次の画面が表示されます。

バーは進捗状況を示しています。右端まで達したら作成終了し、メッセージが表示されます。

*8* ［OK］ボタンをクリックする

*9* フロッピーディスクドライブから、フロッピーディスクを取り出す

*10* ［閉じる］ボタンをクリックする

Windows 起動ディスクが作成できました。
作成した「Windows XP 起動ディスク」は、トラブルが起きたときのために、リカバリ CD などと一緒に大切に保管してください。

参照 Windows 起動ディスクの使いかたや詳細について
➲『Windows XP のヘルプ』

# 6章 アプリケーションを追加する／削除する


1 インストールとは？ ..... 208

2 アプリケーションを追加（インストール）する ..... 209

3 アプリケーションを削除（アンインストール）する ..... 211

# 1 インストールとは？

インストールとは、必要なファイルなどをお使いのパソコンに組み込んで、アプリケーションを使えるようにすることです。
新規にご購入したアプリケーションを使うときに必要な作業です。
また、ご購入時にすでにインストール済みであることをプレインストール、アプリケーションを削除することをアンインストールといいます。
本製品にプレインストールされているアプリケーションは、いったん削除した場合でもアプリケーション CD から、再インストールして使用することができます。

参照 再インストールについて
➲『困ったときは 3章 4 アプリケーションを再インストールする』

# 2 アプリケーションを追加（インストール）する

［プログラムの追加と削除］からアプリケーションをインストールする方法を説明します。
手動で［プログラムの追加と削除］を実行しなくても、CD-ROM などを挿入したときに自動的にインストールのプログラムが起動する場合もあります。その場合は表示されるメッセージに従って操作してください。

お願い

- アプリケーションの追加や削除を行う前に、必ずデータを保存し、その他のアプリケーションを終了させてください。終了せずに、追加や削除を行うと、データが消失するおそれがあります。

## 操作手順

1. インストールしたいアプリケーションのフロッピーディスクまたは CD-ROM をセットする
2. ［コントロールパネル］を開き、［ プログラムの追加と削除］をクリックする
3. ［プログラムの追加］ボタン（ ）をクリックする

4 ［CD またはフロッピー］ボタンをクリックする

この後の作業はアプリケーションによって異なります。表示されるメッセージに従って操作してください。

# 3 アプリケーションを削除（アンインストール）する

アプリケーションを削除する方法を説明します。
アプリケーションの削除は、本当に削除してよいか、よくご確認のうえ行なってください。

お願い
- アプリケーションの追加や削除を行う前に、使用中のアプリケーションは必ずデータを保存し、アプリケーションを終了させてください。終了せずに、追加や削除を行うと、データが消失するおそれがあります。

メモ
- アプリケーションによっては、アンインストールするためのユーティリティ（アンインストーラ）が用意されています。削除したいアプリケーションが一覧にないときは、アンインストーラを使用して削除できる場合があります。詳しくは、アプリケーションのヘルプや『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

## 操作手順

1 ［コントロールパネル］を開き、［ プログラムの追加と削除］をクリックする

2 現在インストールされているプログラムの一覧から削除したいアプリケーションをクリックする

### *3* ［削除］ボタンをクリックする

表示されるメッセージに従って操作してください。

# 付録

1 アプリケーションのお問い合わせ先 ..... 214
2 プロバイダのお問い合わせ先 ..... 220

# 1 アプリケーションのお問い合わせ先

＊ 2002 年 1 月現在の内容です。

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は、次のとおりです。
各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

アプリケーション名：

Acrobat Reader／Audio Manager／Fn-esse／Internet Explorer／InterVideo WinDVD／LaLaVoice／LIVE MEDIA PLAYER／Outlook Express／Windows Media Player／簡単インターネット／東芝HWセットアップ／東芝PC診断ツール／東芝省電力ユーティリティ／内蔵モデム用地域選択ユーティリティ

お問い合わせ先：

（1）東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル 0570-00-3100

受付時間 ： 9:00～19:00（祝日、12/31～1/3を除く）

電話番号はおまちがえのないよう、お確かめの上、おかけいただきますようお願いいたします。お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780でお受けしています。

ご注意

・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません（サポート料金は無料です）。
・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

アプリケーション名：

Microsoft Bookshelf Basic／Microsoft Excel／
Microsoft Outlook／Microsoft Word

お問い合わせ先：

（2）マイクロソフト株式会社 お問い合わせ各種窓口

無償サポート専用回線

●セットアップ、インストールに関するお問い合わせ

TEL　：東京：03-5354-4500
　　：大阪：06-6347-4400
受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
　　10:00～17:00（土曜日）
　　（指定休業日、年末年始、祝祭日を除く）
期間、回数　：指定はございません。

●基本操作に関するお問い合わせ

TEL　：東京：03-5354-4500
　　：大阪：06-6347-4400
受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
　　10:00～17:00（土曜日）
　　（指定休業日、年末年始、祝祭日、日曜日を除く）
期間　：指定はございません。
回数　：4件のご質問

●早急に回答が必要な場合

サポートオンライン　http://www.microsoft.com/japan/support/
サポートオンラインではよく寄せられる質問の回答集を検索することができます。

●情報交換しながら問題解決する

ニュースグループ　http://www.microsoft.com/japan/support/oj_newsg.htm
ニュースグループではマイクロソフト製品に関して他の方や技術的な知識を持った方とコミュニケーションすることができます。製品情報やヒント、テクニックの交換の場としてご活用ください。

※ニュースグループに参加する際は、上記URL内にある「サービスの範囲とルール」を必ずご覧ください。ニュースを閲覧／投稿する際には、Outlook Expressなどのニュースリーダーが必要です。

非技術的なお問い合わせ窓口

（マニュアルの乱丁・落丁、ディスク不良、欠品及びオフィシャル ユーザー登録/変更などやご購入前の製品/これから発売される製品に関するお問い合わせ）

マイクロソフトカスタマーインフォメーションセンター

ＴＥＬ　：03-5454-2300（技術サポート以外）
受付時間　：9:30～12:00、13:00～17:30
　　（当センター休業日、年末年始、土・日・祝祭日を除く）

※ご購入前の製品やこれから発売される製品に関するお問い合わせは、お電話でのみ受け付けています。
上記以外に聴覚・言語に障害があるかたのための窓口もご用意させていただいております。

アプリケーション名：

イー・アクセス ADSLスターターキット

お問い合わせ先：

（3）イー・アクセス株式会社 カスタマーサービスセンター

ＴＥＬ　：0120-2754-37（つなごうよ みんな）
受付時間　：10:00～18:00（年中無休）
E-mail　：info@eaccess.net
ホームページ：http://www.eaccess.net

アプリケーション名：

The翻訳インターネット

お問い合わせ先：

（4）東芝翻訳サポートセンタ

ＴＥＬ　：フリーダイヤル 0120-1048-37
＊携帯電話、PHSをご利用の場合：03-5465-7290
受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝日ならびに本サポートセンタ臨時休業日を除く）
E-mail　：honyaku@toshiba.co.jp
ホームページ：http://www.hon-yaku.toshiba.co.jp/

※「The翻訳インターネット」は、AOL専用ブラウザおよび、メーラーに連携させることはできません。

アプリケーション名：

PostPet

お問い合わせ先：

（5）ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社

ポストペットの最新情報やQ&Aはポストペットホームページをご覧ください。
http://www.so-net.ne.jp/postpet/

アプリケーション名：

プロアトラス2002

お問い合わせ先：

（6）株式会社アルプス社 ユーザーサポートセンター

ＴＥＬ　：03-5836-2380
受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝祭日、休業日を除く）
ＦＡＸ　：03-5836-2390（24時間受付）
E-mail　：support@alpsmap.co.jp
製品情報のサイト：http://www.alpsmap.co.jp/

アプリケーション名：

駅すぱあと

お問い合わせ先：

（7）株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター

ＴＥＬ　：03-5373-3522
受付時間　：10:00～12:00、13:00～18:00（土・日・祝日を除く）
ＦＡＸ　：03-5373-3523
E-mail　：support@val.co.jp
＊ユーザー登録されたお客様が対象となります。
ホームページ：http://www.ekiworld.net/

アプリケーション名：

筆ぐるめ

お問い合わせ先：

（8）富士ソフトABC株式会社 インフォメーションセンター

住所　：〒 130-0022 東京都墨田区江東橋2-19-7
ＴＥＬ　：03-5600-2551
ＦＡＸ　：03-3634-1322
受付時間　：9:30～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝祭日・会社休業日を除く）
E-mail　：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://www.fsi.co.jp/

＊電話がつながりにくい場合には、E-mail、FAXをご利用いただくことをおすすめします。
＊マニュアルが必要な場合、オーム社発行の「筆ぐるめ 操作マニュアル」を書店でお求めになれます。

株式会社オーム社 販売課　TEL：03-3233-0643　FAX：03-3293-6224

アプリケーション名：

てきぱき家計簿マム3

お問い合わせ先：

（9）テクニカルソフト株式会社 サポートセンター

ＴＥＬ　：東京 03-3564-6370　大阪 06-6633-1162
岡山 086-245-4770
ＦＡＸ　：086-244-6010
受付時間　：10:00～17:00（土・日・弊社休業日を除く）
E-mail　：support@softnet.co.jp
ホームページ：http://www.softnet.jp/

アプリケーション名：

Norton AntiVirus 2002

お問い合わせ先：

（10）<技術的なお問い合わせ>
シマンテックテクニカルサポートセンター

なお、上記サポートセンターをご利用頂くためには、以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。
http://shop.symantec.co.jp/oem/toshiba/2002/

電話番号　：03-3476-1118
サポート時間：平日10時～12時、13時～17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）
FAX　：03-3477-1118

※本製品でNorton AntiVirus 2002をご使用の場合、電話によるサポートは製品のご使用を開始されてから90日間となります。それ以降は、有償サポートをご購入いただくことでサポートを受けていただくことが可能となります。

<カスタマーID取得、及びご購入前の一般的なご質問に関するお問い合わせ>
コンシューマ・カスタマーサービスセンター

電話番号　：03-3476-1156
サポート時間：平日10時～12時、13時～17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）
FAX　：03-3476-1159

アプリケーション名：

デジカメWalker（Ulead iPhoto Express）

お問い合わせ先：

（11）ユーリードテクニカルサポート

ＴＥＬ　：03-5491-5662
受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00
ＦＡＸ　（土・日・祝祭日・年末年始はお休みさせて頂きます）
：03-5491-5663
E-mail　：support@ulead.co.jp
ホームページ：http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm

アプリケーション名：

KaraOK!

お問い合わせ先：

（12）株式会社フェイス

「KaraOK!」の最新情報やご質問は「KaraOK!」のホームページをご覧ください。

ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/karaoke/

アプリケーション名：

MotionDV STUDIO

お問い合わせ先：

（13）松下電器産業株式会社AVC社 お客様ご相談センター

TEL　：0120-878-365（フリーダイヤル）
受付時間　：9:00～20:00（年中無休）
ホームページ　：http://www.panasonic.co.jp/products/dvc/soft/mdv/index.html
e-mailサポート　：http://www.panasonic.co.jp/avc/home/cgi-bin/avc_cs_a.cgi?03

アプリケーション名：

携快電話5in

お問い合わせ先：

（14）ソースネクストテクニカルサポートセンター

TEL　：03-5388-8250
受付時間　：10:00～18:00
（土・日・祝日・年末年始・ゴールデンウィークを除く）
ホームページ　：http://www.sourcenext.com/support/qa/k
（FAQを参照後、メールにてお問い合わせください）

アプリケーション名：

Drag'n Drop CD

お問い合わせ先：

（15）ESJカスタマーセンター

オンラインサポートアドレス
：http://www.easy.co.jp/dd2/toshiba/toupport.html
受付時間　：オンラインにて24時間受付

※17時30分まで受付け分を当日回答、以降は翌営業日に回答
（回答は、土・日・祝日ならびに会社休業日を除きます）

# 2 プロバイダのお問い合わせ先

＊2002年1月現在の内容です。

「簡単インターネット」から契約できるプロバイダのお問い合わせ先は、次のとおりです。

プロバイダ名：
AOL

お問い合わせ先：
（1）株式会社ドコモAOL AOLメンバーサポートセンター
ＴＥＬ　：0120-275-265
＊携帯電話、PHSの場合：03-5331-7400
受付時間　：9:00～21:00（年中無休）
FAX　：0120-379-930
E-Mail　：aoljapanms@aol.com

プロバイダ名：
@nifty

お問い合わせ先：
（2）@nifty入会センター
ＴＥＬ　：0120-816-042
（携帯電話/PHS/海外の場合）03-5753-2374
受付時間　：毎日 9:00～21:00
※ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。
E-mail　：http://www.nifty.com/support/madoguchi/form_join.htm
ホームページ　：http://www.nifty.com/support/madoguchi/

プロバイダ名：
BIGLOBE

お問い合わせ先：
（3）NEC BIGLOBEカスタマーサポート
インフォメーションデスク
ＴＥＬ　：フリーダイヤル 0120-86-0962（24時間365日受付）
携帯電話・PHSの方はこちらへ 03-3947-0962
＊電話番号はおかけ間違いのないようお願いします。
ホームページ　：http://support.biglobe.ne.jp/

プロバイダ名：
DION

お問い合わせ先：

（4）KDDIカスタマサービスセンター

サービス内容に関するお問合わせ

ＴＥＬ　：0077-7192（無料）
E-mail　：support@dion.ne.jp

接続・設定に関するお問合わせ

0077-20227（有料 全国一律10円／分）
携帯電話・PHSからは
東京　03-5348-3975（有料）
札幌　011-232-7012（有料）
E-mail　：tech_support@dion.ne.jp

ADSLコースのサービス内容、接続・設定内容に関するお問合わせ

ＴＥＬ　：0077-7084（無料）
E-mail　：サービス内容：bbsuport@dion.ne.jp
　　接続・設定等：bbtech@dion.ne.jp

ホームページ
http://www.dion.ne.jp/

受付時間
9:00～21:00（土・日・祝日も受付中）

プロバイダ名：
DreamNet

お問い合わせ先：

（5）ドリームネット・インフォメーションセンター

サービスに関してのお問い合わせ

ＴＥＬ　：0120-5656-86
受付時間　：10:00～18:00（土・日・祝日を除く）
ＦＡＸ　：03-5292-0144
E-mail　：request@info.dream.com
ホームページ：http://www.dream.com/

プロバイダ名：
infoPepper

お問い合わせ先：

（6）東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口

ＴＥＬ　：044-201-0450
受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝祭日、当社休業日を除く）
FAX　：044-246-1131
FAX・音声
情報サービス　：044-201-0449（24時間受付）
E-mail　：support@staff.pep.ne.jp
ホームページ　：http://www.pep.ne.jp/

プロバイダ名：
OCN

お問い合わせ先：

（7）〈OCNサービス全般のお問い合わせ、入会に関するご相談〉
OCNインフォメーションデスク

ＴＥＬ　：0120-047-815
受付時間　：9:00～21:00（月～金）
9:00～17:00（土・日・祝）※年末、年始を除く
E-mail　：info@ocn.ad.jp

〈OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先〉
OCNカスタマサポート

ＴＥＬ　：0120-047-860
ＦＡＸ　：0120-047-861
受付時間　：9:00～21:00（月～金）
9:00～17:00（土・日・祝）＊年末、年始を除く
E-mail　：support@ocn.ad.jp

ホームページ　：http://www.ocn.ne.jp

プロバイダ名：

ODN

お問い合わせ先：

（8）ODNサポートセンター

ODNサービスに関するお問い合わせ

ＴＥＬ　：0088-86（無料）
受付時間　：9:00～21:00（平日）
9:00～18:00（土日祝日）

接続に関するお問い合わせ

ＴＥＬ　：0088-85（無料）
受付時間　：9:00～21:00（平日）
9:00～18:00（土日祝日）

FAX・E-mailによるお問い合わせ

ＦＡＸ　：0088-228-850
E-mail　：odn-support@odn.ad.jp（サービス案内）
tech-support@odn.ad.jp（接続サポート）

J-DSLに関するお問い合わせ
ODNサポートセンターJ-DSL担当デスク
J-DSJ/ODNフレッツADSLプラン（無料）

ＴＥＬ　：0088-222-375（サービス案内）
0088-228-325（接続サポート）
受付時間　：9:00～18:00（年中無休）

音声によるJ-DSL提供エリア検索

ＴＥＬ　：0088-222-357（無料）
受付時間　：24時間

FAX・E-mailによるお問い合わせ

ＦＡＸ　：0088-250-106（24時間無料着信）
E-mail　：info-adsl@odn.ad.jp

プロバイダ名：
So-net

お問い合わせ先：

（9）So-netカスタマーサポートセンター

インフォメーションデスク（サービス内容に関するお問い合わせ窓口）

【全国共通インフォダイアル】：0570-00-1414
（日本全国どこからでも3分8.5円の通話料金でご利用になれます。）

＊携帯、PHSからおかけになる場合はこちらへ

【札幌】：011-711-3765　【仙台】：022-256-2221
【東京】：03-3446-7555　【名古屋】：052-819-1300
【大阪】：06-6577-4000　【広島】：082-286-1286
【福岡】：092-624-3910

受付時間　：10:00～21:00（年中無休）
ＦＡＸ　：03-3446-7557
E-mail　：info@so-net.ne.jp

自動応答サービス（24時間対応）

資料請求ダイアル ：03-5469-7200
So-netロボダイアル ナビダイヤル ：0570-00-7272
携帯／PHS ：03-3446-8955
自動返信メール ：auto-info@so-net.ne.jp

テクニカルサポートデスク（会員専用の技術関係のお問い合わせ窓口）

受付時間　：10:00～22:00（平日）
10:00～21:00（土・日・祝祭日）

プロバイダ名：
東京電話インターネット

お問い合わせ先：

（10）東京電話インターネットインフォメーションセンター

TEL　：0081-1588
0120-719-033
受付時間　：9:00～21:00（年中無休）
E-mail　：dup-info@ttcn.ne.jp
ホームページ：http://www.dup.ttcn.ne.jp

プロバイダ名：
ぷらら

お問い合わせ先：

（11）<ぷららダイヤル>（テクニカルサポート）

ＴＥＬ　：03-5954-5311（Win版）
受付時間　12:00～21:00（平日）
12:00～19:00（土・日・祝祭日）
（5/3～5、12/29～1/3を除く）

<ぷらら入会受付専用ダイヤル>

ＴＥＬ　：0120-488912（スバヤクイージー）
受付時間　：10:00～22:00（平日・土・日・祝祭日）
（5/3～5、12/29～1/3を除く）

FAX　：03-5954-5344（自動応答FAX）
E-mail　：kojin@plala.or.jp
ホームページ：http://www.plala.or.jp/access/

プロバイダ名：
InfoSphere

お問い合わせ先：

（12）InfoSphereインフォメーションセンター

ＴＥＬ　：0120-85-4588（フリーダイヤル）
受付時間　：10:00～21:00（年中無休）
E-mail　：info-staff@sphere.ad.jp
ホームページ：http://www.sphere.ad.jp/

# さくいん


## (A)

Acrobat Reader ..... 148
Audio Manager ..... 63

## (D)

Drag'n Drop CD ..... 70, 195

## (I)

InterVideo WinDVD ..... 78

## (K)

KaraOK! ..... 75

## (L)

LaLaVoice ..... 154
LaLaVoice Web ..... 164
LaLaVoice アシスタント ..... 166
LaLaVoice コマンド ..... 160
LaLaVoice テキスト ..... 156
LIVE MEDIA PLAYER ..... 44, 54

## (M)

Microsoft Bookshelf Basic .. 127
Microsoft Excel ..... 140
Microsoft Outlook ..... 121
Microsoft Word ..... 134
MotionDV STUDIO ..... 90

## (N)

Norton AntiVirus 2002 ..... 190

## (T)

The 翻訳インターネット ..... 130

## (W)

Windows Media Player ... 48, 58
Windows 起動ディスク ..... 203

## (ア)

アプリケーションを削除する .... 211
アプリケーションを追加する .... 209
アンインストール ..... 208

## (イ)

インストール ..... 208

## (エ)

駅すぱあと ..... 96

## (テ)

てきぱき家計簿マム３ ..... 108
デジカメ Walker
（Ulead iPhoto Express） .... 86

## (ト)

東芝 PC 診断ツール ..... 199

## (フ)

筆ぐるめ ..... 111
プレインストール ..... 208
プロアトラス 2002 ..... 103